

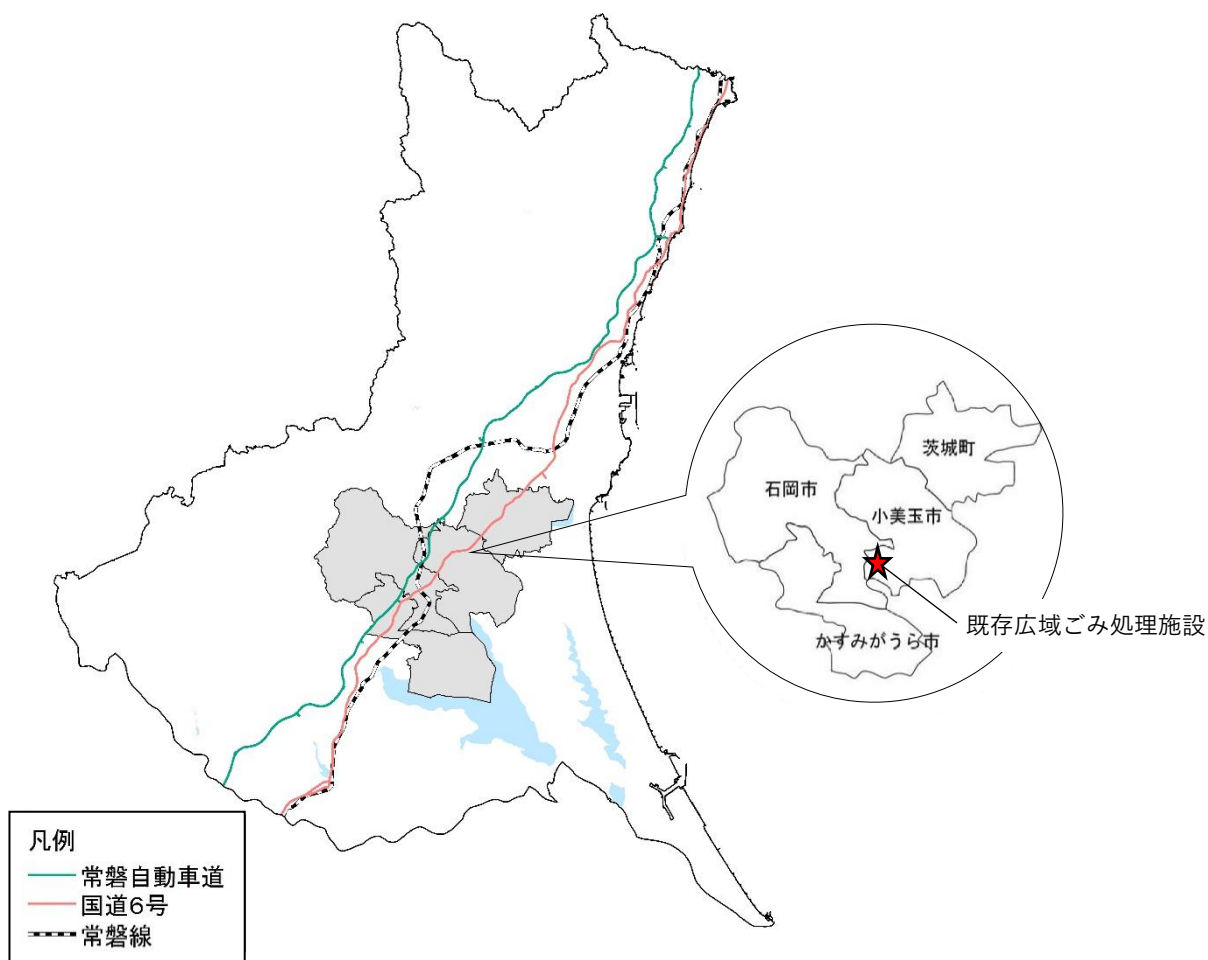
第2章 地域還元施設周辺地域の現況

本章では、地域還元施設の性質上から霞台周辺に施設を想定し、霞台厚生施設組合を構成する構成市町を中心とした地域を地域還元施設の周辺地域（以下「周辺地域」という。）と位置づけ、新地域還元施設の検討の基礎資料とすることを目的として、その概要を整理する。

2-1 周辺地域の現況

(1) 周辺地域の位置

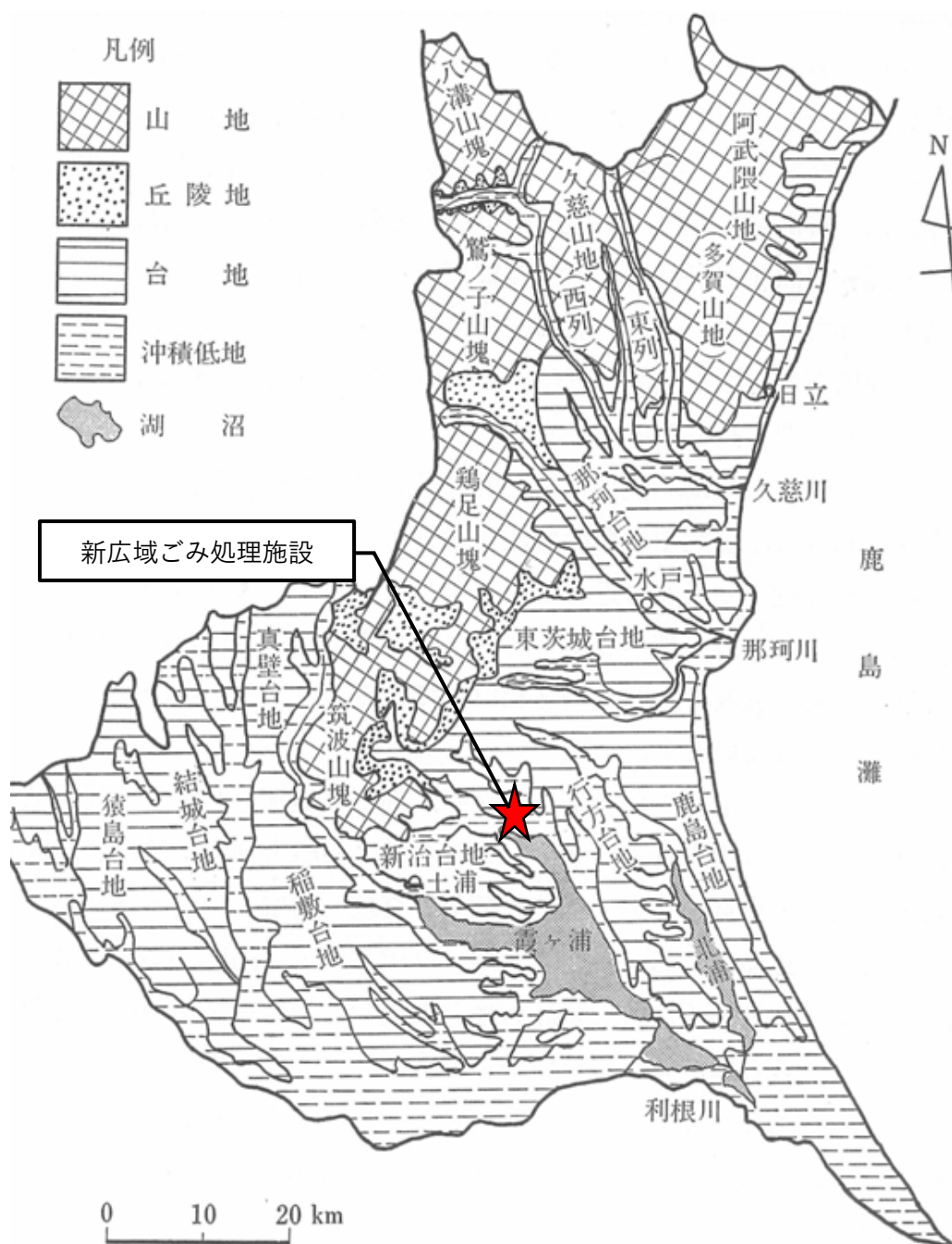
構成市町は、総面積が 638.90km²（湖沼面積 50.64km² を含む）で、首都東京より概ね 70km～100km 圏にあり、茨城県のほぼ中央に位置している。本地域は関東平野特有の平坦な地形で構成され、西部から北部にかけて筑波山系が連なり、そこからなだらかな丘陵地が広がり、北部は県庁所在地である水戸市に、南部は日本第二の湖面面積である霞ヶ浦に隣接している。常磐自動車道、国道6号、常磐線が位置し交通の利便性が良く、自然環境にも恵まれていることから宅地開発や郊外型の商業施設の進出等、都市化が進展している地域である。



(2) 周辺地域の地形

構成市町の存する茨城県中部には洪積台地が広がり、行方台地や新治台地など標高 30m ほどの台地が主要な地形となっている。霞ヶ浦周辺や河川の流域は沖積低地が形成され、標高は概ね 5m を超えない。

【図表】茨城県全体の地形



(資料：蜂須紀夫編「茨城県地学のガイド」S52.1 コロナ社)

新広域ごみ処理施設の北側に当たる、石岡市、小美玉市（旧美野里町及び旧小川町）及び茨城町は行方台地の上に位置する。一部に河川の浸食による低地が見られるものの、平坦な台地・段丘が大部分を占めている。行方台地の標高は概ね 25～40m の範囲であるが、旧美野里町付近はやや低く、約 25～30m の標高となっている。

一般的に、台地・段丘は台状または階段状の地形で、通常は高い位置にあるものほど形成時期が古い。当該地域は台地・段丘の上位面に当たり、2 番目に古い時代に区分されており、地盤は比較的良いと言える。また、河床から川岸までの高さが大きいので、水害を受けにくい地形となっている。

一方、河川沿いに形成されている谷底平野や氾濫平野は、河川の堆積作用によって形成された土地である。地盤は砂や粘土から成るので軟弱である。こうした低地及び台地との境にある斜面は、施設建設地に相応しくない。

【図表】石岡市、小美玉市（旧美野里町及び旧小川町）及び茨城町の地形

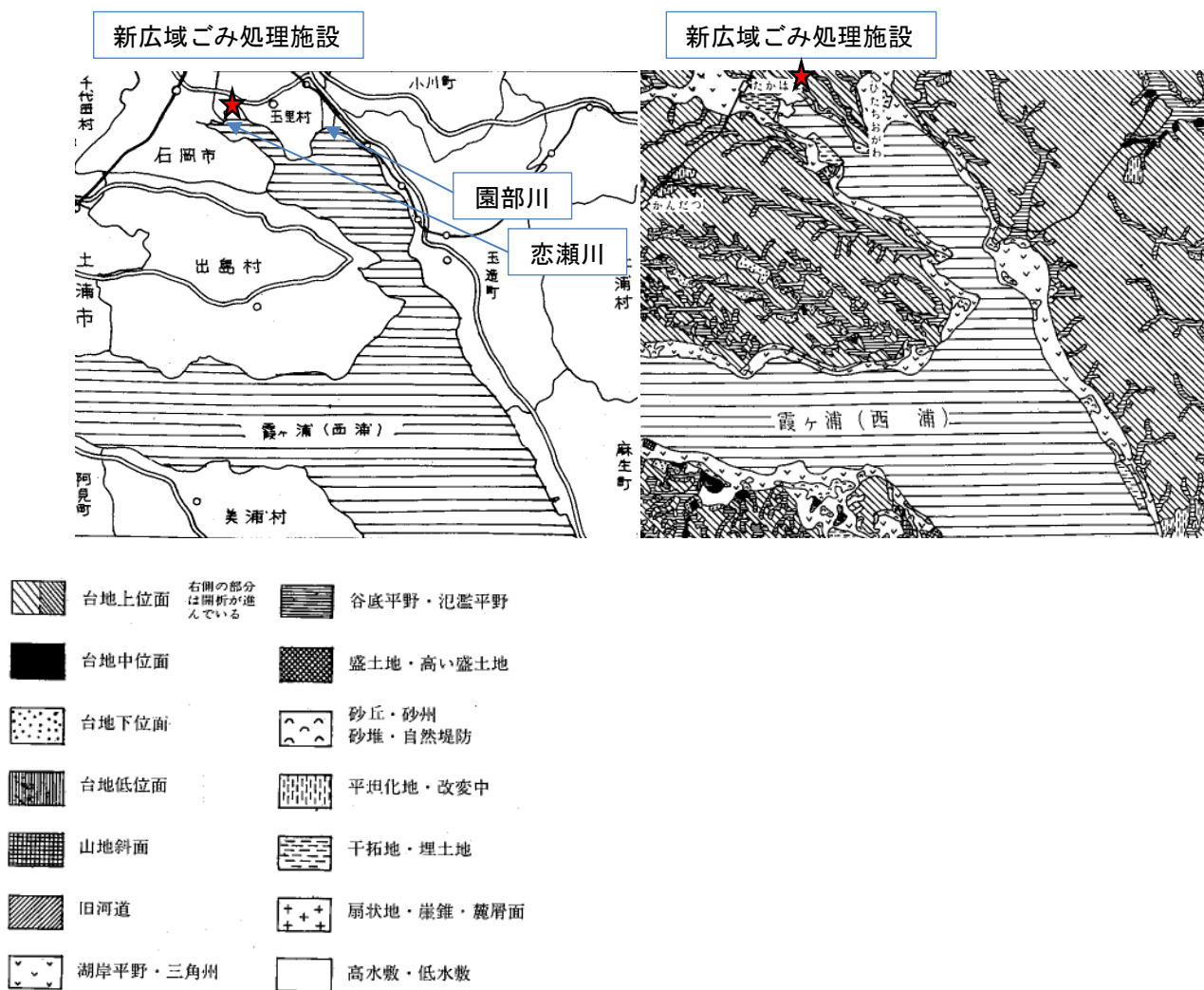


(資料：「土地条件図 石岡」H1.1国土地理院)

新広域ごみ処理施設の南側に当たる、小美玉市（旧玉里村）は行方台地、かすみがうら市や石岡市の一部は新治台地に当たる。二つの台地は恋瀬川を境に区分される。一部に河川の浸食が見られるものの、ほぼ平坦な台地が大部分を占めている。以上の特性は前頁の白雲荘の北側と同様で、地震や水害による被害を受けにくい地形となっている。

一方、霞ヶ浦の沿岸には低地が形成されており、特に霞ヶ浦に流入する恋瀬川、園部川の河口の低地は発達している。このうち、園部川の河口低地には河道を塞ぐような砂洲があり、また地盤高が1～2mと低いことから、洪水の被害を受けやすい地形となっている。昭和13年の洪水では一面が湖のようになっていたと言われている（「土地条件調査報告書 銚子・鹿島地区」より引用）。

【図表】小美玉市（旧玉里村）及びかすみがうら市の地形



（資料：「土地条件調査報告書 銚子・鹿島地区」S54.3国土地理院）

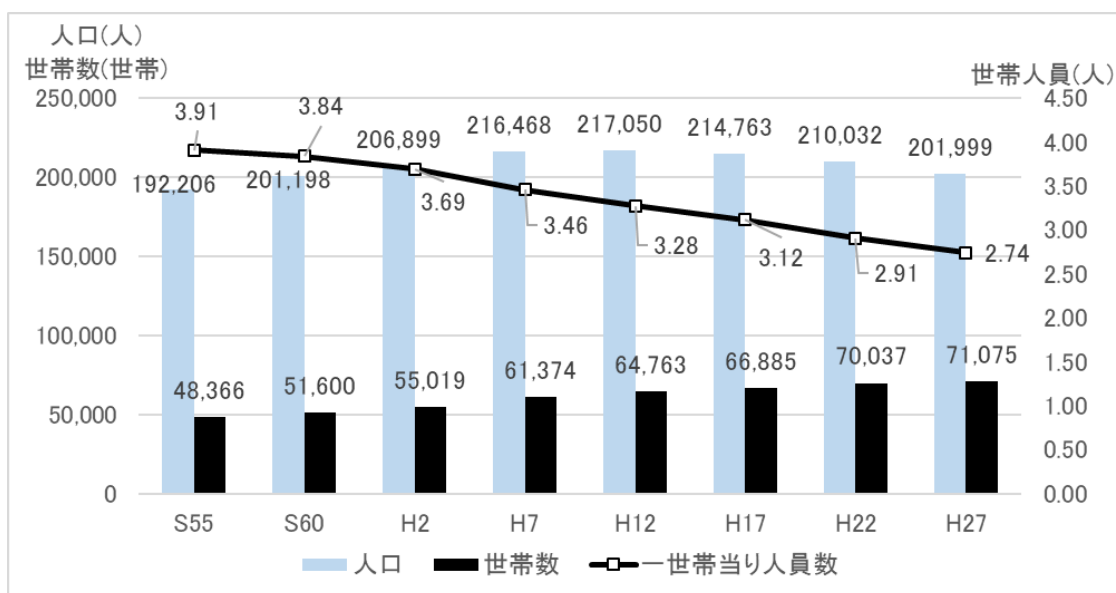
(3) 人口・世帯数等の動向

○人口及び世帯数の推移

平成 27 年の人口の規模は、構成市町全体で約 20 万人、平成 17 年以降から減少傾向が続いている。

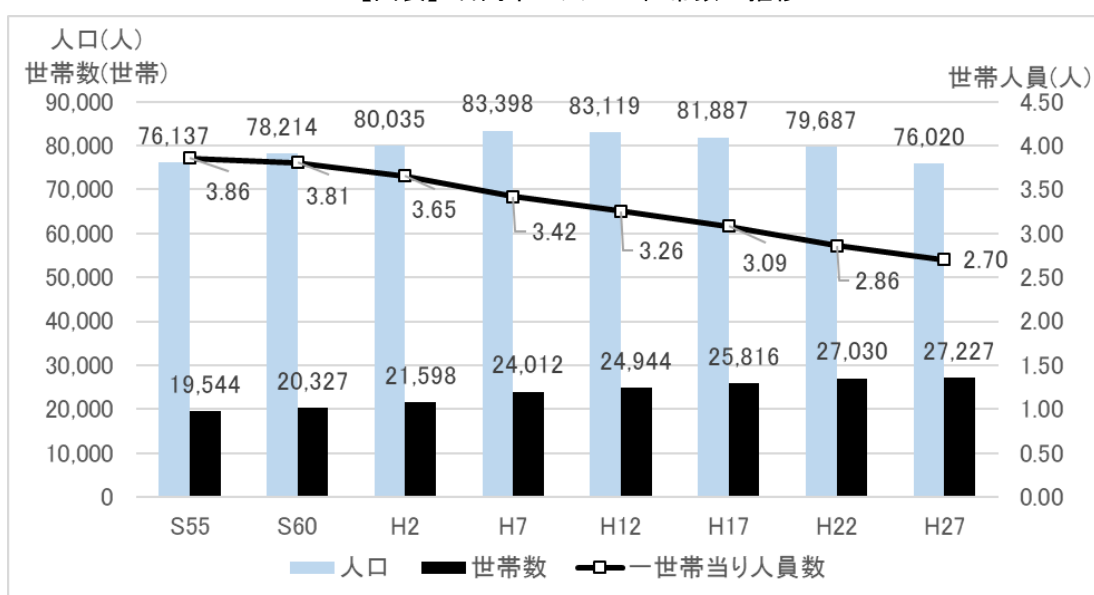
各構成市町の状況は、石岡市で約 7 万人、小美玉市で約 5 万人、かすみがうら市で約 4 万人、茨城町で約 3 万人となっている。構成市町の人口はいずれも平成 7 年あるいは平成 12 年から減少傾向が続いている。世帯数の増加とともに一世帯あたりの人員数が減少する傾向は構成市町で共通しており、いずれの市町でも世帯の小規模化が進んでいる。

【図表】構成市町の人口・世帯数の推移



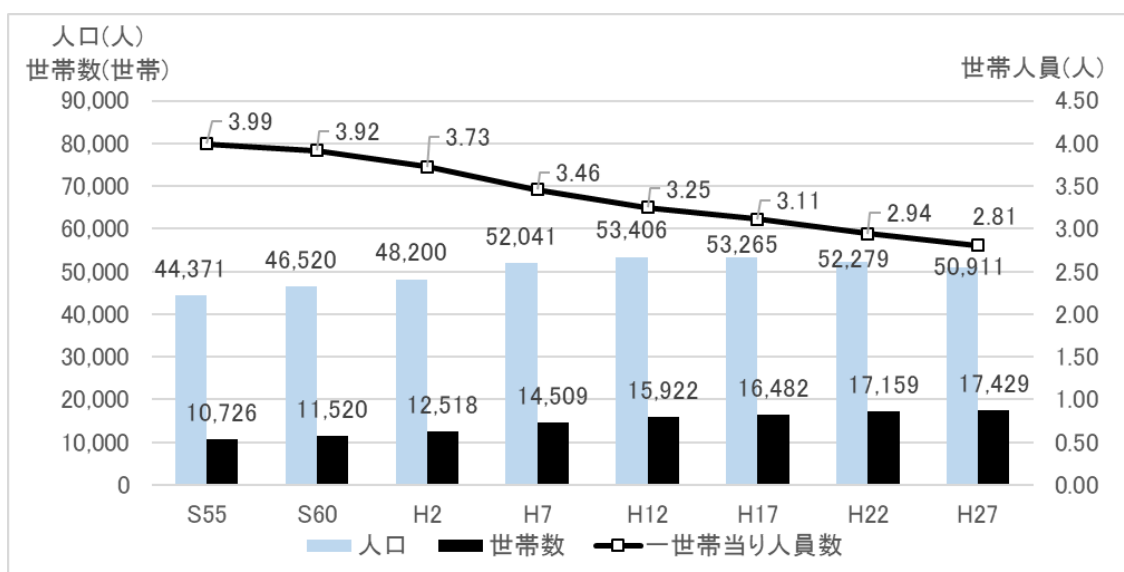
※構成市町の合算 国勢調査結果 各年

【図表】石岡市の人口・世帯数の推移



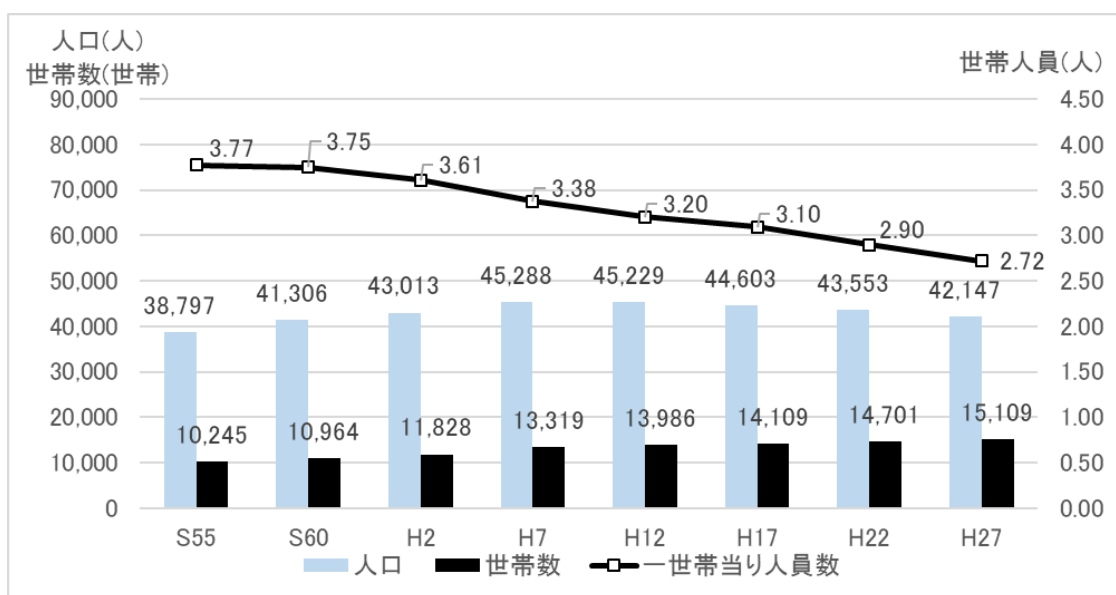
※S55、S60、H2、H7及びH12は石岡市及び八郷町の合算 国勢調査結果 各年

【図表】小美玉市の人口・世帯数の推移



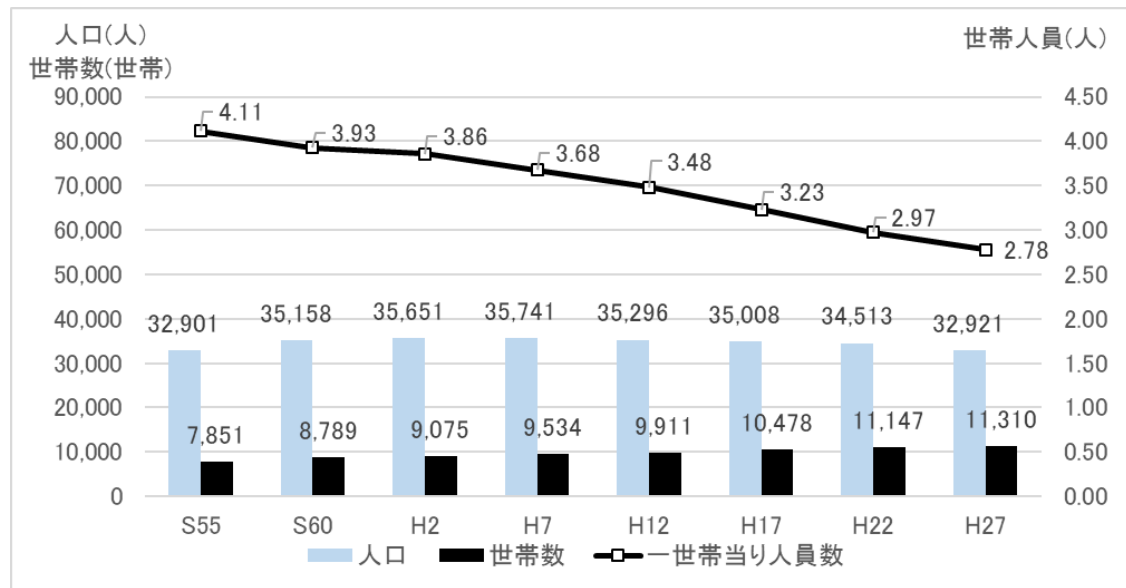
※S55、S60、H2、H7、H12及びH17は小川町、美野里町及び玉里村の合算 国勢調査結果各年

【図表】かすみがうら市の人口・世帯数の推移



※S55、S60、H2、H7及びH12は出島村及び千代田町(村)の合算国勢調査 結果 各年

【図表】茨城町の人口・世帯数の推移



(資料：国勢調査結果 各年)

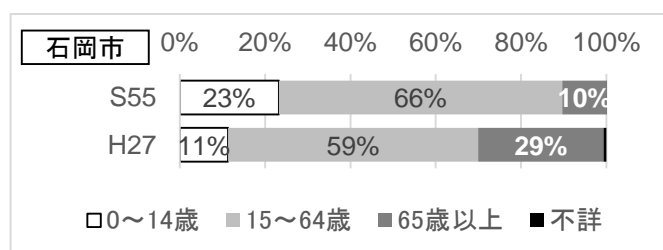
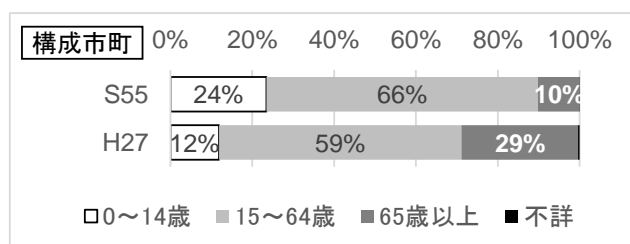
※世帯数は一般世帯を適用

※一般世帯とは住居と生計を共にしている人の集まりで持ち家や借家等に住む世帯のこと。間借りや下宿、寄宿舍等の単身者も世帯数に計上。

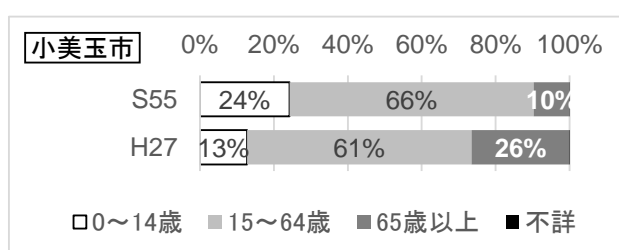
○年齢別人口（3区分）

構成市町いずれにおいても、白雲荘の施設供用の開始時期（昭和54年8月）に比べて年少人口の減少、高齢化の進展が見られる。昭和55年と平成27年で比較すると、年少人口比率は10ポイントほど減少し、老年人口の比率は20ポイントほど増加している。この傾向は茨城町、石岡市、かすみがうら市、小美玉市の順に強く見られる。

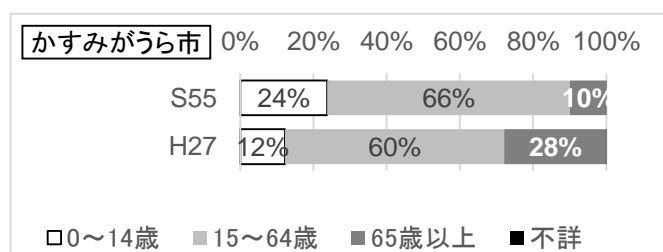
【図表】 年齢別人口（3区分）比率の比較



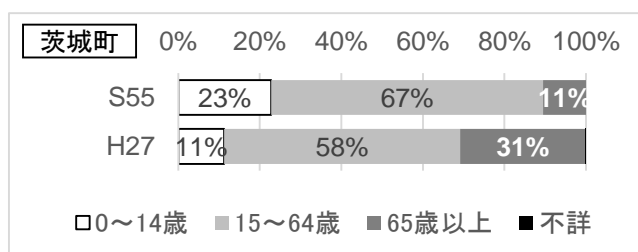
※S55は石岡市及び八郷町の合算



※S55は小川町、美野里町及び玉里村の合算



※S55は出島村及び千代田町(村)の合算



（資料：国勢調査）

○人口動態

前述の「人口及び世帯数の推移」で明らかになった近年の人口減少傾向について、その要因を明らかにするため、平成 18 年から平成 28 年の 10 年間の年齢別人口の比較を行った。

石岡市、小美玉市及びかすみがうら市では社会減が弱まり、自然減が強まっている。茨城町は平成 18 年で社会増であったが、平成 28 年で自然減、社会減になっている。構成市町いずれにおいても自然減の傾向が強まっている。

【図表】 年齢別人口（3 区分）の比較（単位：人）

市町名	石岡市		小美玉市		かすみがうら市		茨城町		構成市町	
統計年	H18	H28	H18	H28	H18	H28	H18	H28	H18	H28
自然増減	△ 210	△ 456	△ 6	△ 238	△ 17	△ 238	△ 6	△ 278	△ 239	△ 1,210
社会増減	△ 411	△ 262	△ 171	△ 79	△ 181	△ 170	55	△ 39	△ 708	△ 550
人口増減	△ 621	△ 718	△ 177	△ 317	△ 198	△ 408	49	△ 317	△ 947	△ 1,760

（資料：茨城県常住人口調査）

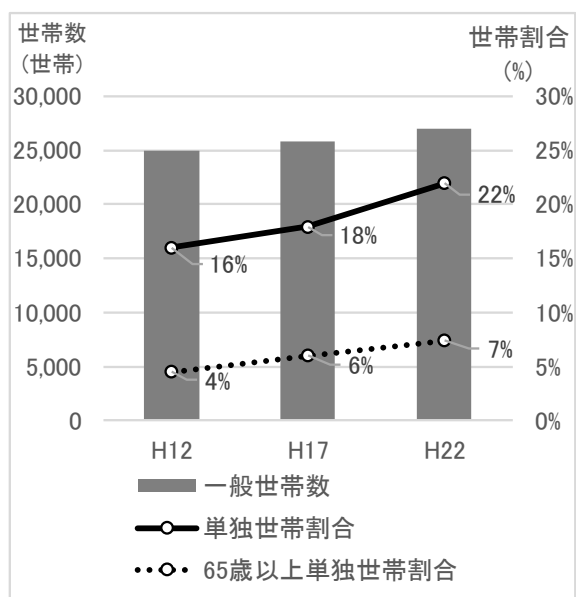
○世帯の類型

近年の世帯数の増加傾向は単身化が大きく寄与していると考えられる。その要因を明らかにするため、平成17年から27年の国勢調査における単身世帯数の比較を行った。

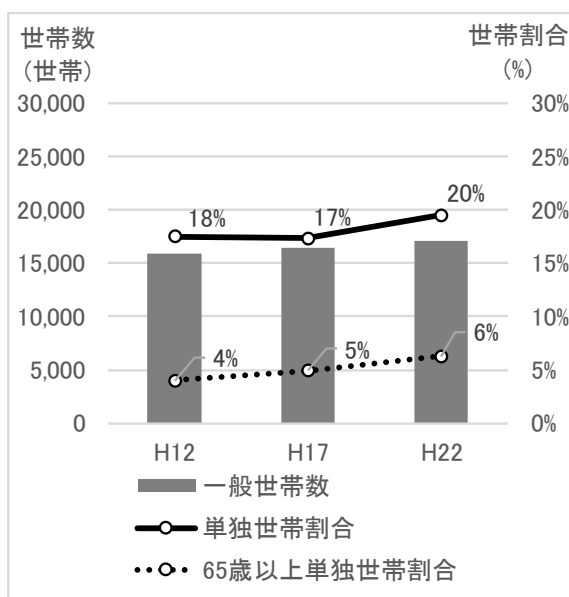
単独世帯の比率は増加傾向にあり、どの構成市町も20%を超えている。また、65歳以上の単独世帯も増加傾向にある。

【図表】 単独世帯数の推移

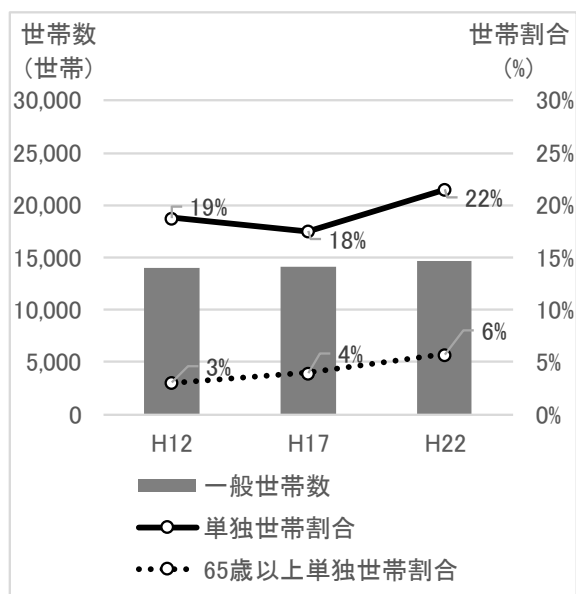
(石岡市)



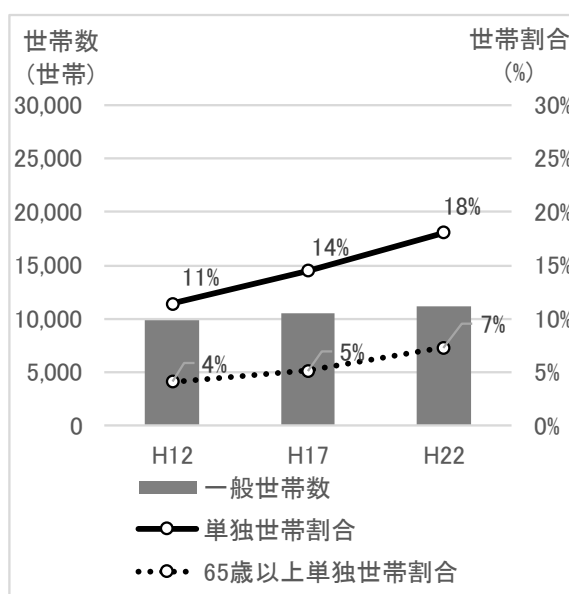
(小美玉市)



(かすみがうら市)



(茨城町)



(資料：国勢調査)

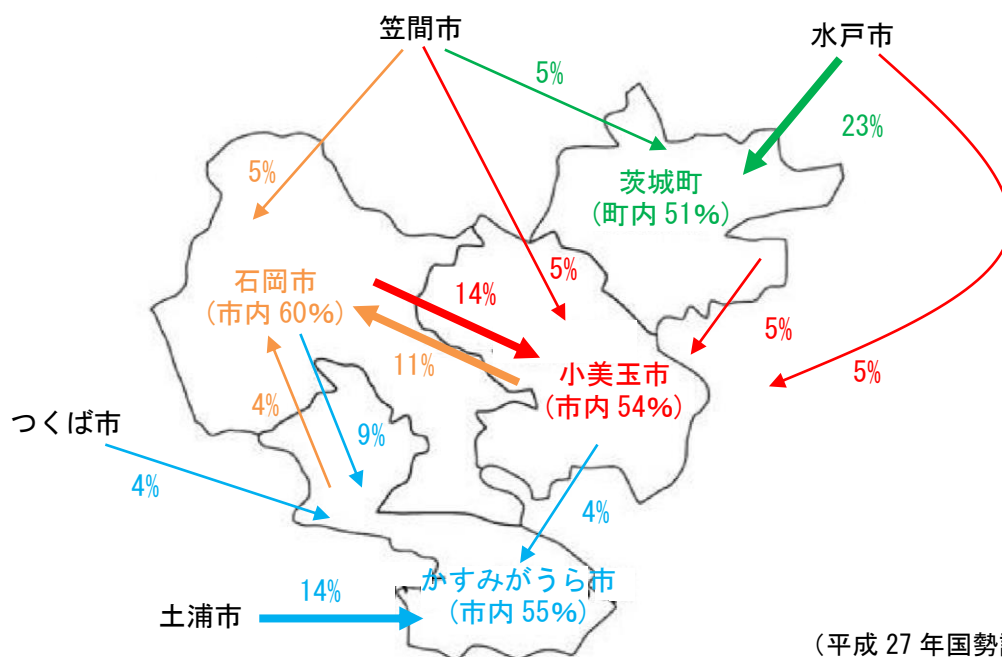
○人口の流入

構成市町ともに通勤・通学地が自市町内の者が過半数を占める。

自市町内のほかでは、石岡市と小美玉市が相互への流入が見られる。また、かすみがうら市では土浦市からの流入、茨城町では水戸市からの流入が多く見られる。

【図表】 通勤・通学者の常住地

石岡市（総数34,159人）			小美玉市（総数27,321人）		
市内	20,652人	(60%)	市内	14,722人	(54%)
小美玉市	3,723人	(11%)	石岡市	3,850人	(14%)
笠間市	1,643人	(5%)	水戸市	1,477人	(5%)
かすみがうら市	1,253人	(4%)	笠間市	1,470人	(5%)
土浦市	1,058人	(3%)	茨城町	1,046人	(4%)
水戸市	879人	(3%)	行方市	898人	(3%)
かすみがうら市（総数17,262人）			茨城町（総数15,489人）		
市内	9,551人	(55%)	町内	7,894人	(51%)
土浦市	2,396人	(14%)	水戸市	3,516人	(23%)
石岡市	1,605人	(9%)	笠間市	733人	(5%)
小美玉市	660人	(4%)	ひたちなか市	648人	(4%)
つくば市	627人	(4%)	小美玉市	560人	(4%)
行方市	297人	(2%)	行方市	436人	(3%)

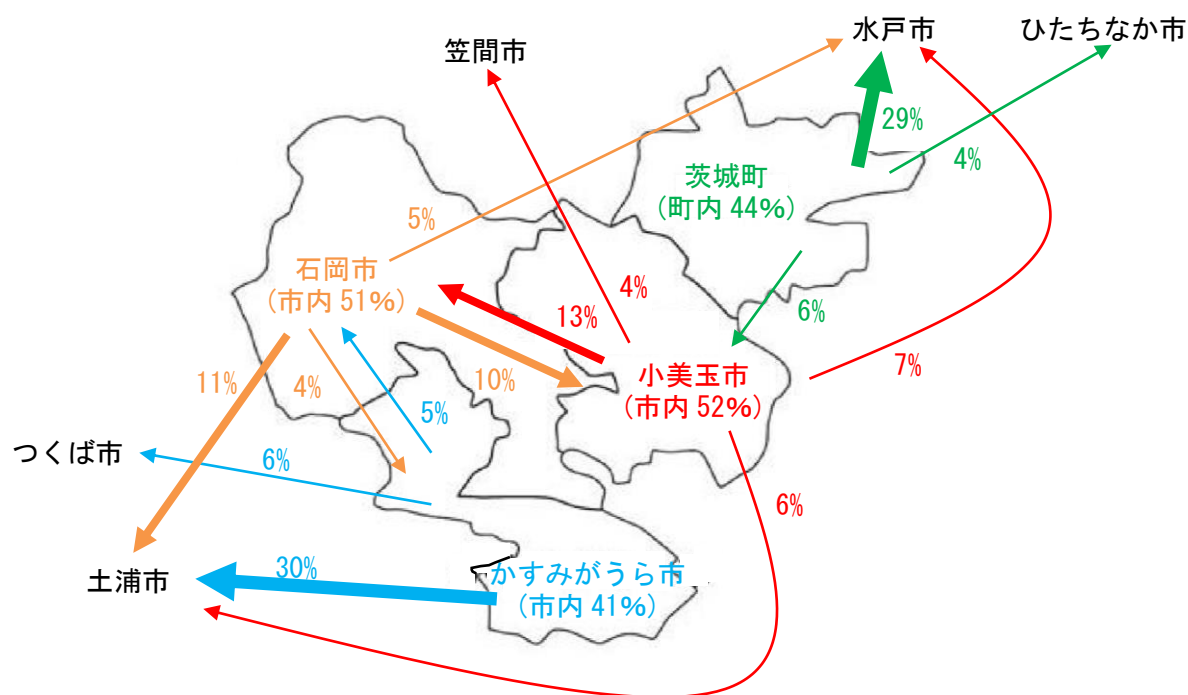


○人口の流出

構成市町とも通勤・通学地が他市町の者が半数程度である。特に、かすみがうら市から土浦市へ、茨城町から水戸市への通勤・通学する者は、それぞれの自市町内への通勤・通学者に匹敵するほど多い。他には、石岡市と小美玉市において相互への流出が見られる。

【図表】 通勤・通学者の従業地

石岡市（総数40,430人）			小美玉市（総数28,563人）		
市内	20,652人	(51%)	市内	14,722人	(52%)
土浦市	4,279人	(11%)	石岡市	3,723人	(13%)
小美玉市	3,850人	(10%)	水戸市	1,973人	(7%)
水戸市	1,829人	(5%)	土浦市	1,753人	(6%)
かすみがうら市	1,605人	(4%)	笠間市	1,036人	(4%)
つくば市	1,576人	(4%)	かすみがうら市	660人	(2%)
かすみがうら市（総数23,343人）			茨城町（総数18,035人）		
市内	17,262人	(41%)	町内	7,894人	(44%)
土浦市	2,396人	(30%)	水戸市	5,253人	(29%)
つくば市	1,605人	(6%)	小美玉市	1,046人	(6%)
石岡市	660人	(5%)	ひたちなか市	686人	(4%)
小美玉市	627人	(2%)	笠間市	626人	(3%)
水戸市	297人	(2%)	石岡市	410人	(2%)



（平成 27 年国勢調査より作成）

(4) 交通状況（道路ネットワーク、鉄軌道、バス路線等）

構成市町は茨城県の中南部に位置するが、県庁所在地である水戸市と首都圏の中間に位置しており、常磐自動車道、国道6号、常磐線といった交通の大動脈が通る重要な地域になっている。

○道路網

高速道路では、常磐自動車道が国道6号の西側に並行して整備されている。石岡市には千代田石岡 I.C. と石岡小美玉スマート I.C. が設置されており、東京方面及び東北方面からの自動車交通の玄関口となっている。また、常磐自動車道友部 JCT で連結する北関東自動車道は、茨城町 JCT で東関東自動車道に連絡し、小美玉市にある茨城空港へのアクセス路となっている。

国道6号は、構成市町の北東から南西にかけて、ほぼ直線状に整備されている。沿道近くには茨城町役場、小美玉市役所、石岡市役所、かすみがうら市千代田庁舎が立地しており、国道6号は構成市町をつなぐ重要な道路となっている。

○鉄道網

常磐線が地域の西側を南北に整備されており、小美玉市には羽鳥駅、石岡市には石岡駅及び高浜駅がある。一方、かすみがうら市の最寄駅は神立駅があり、茨城町の最寄駅は水戸駅等がある。また、鹿島鉄道は、平成19年に廃止され代替としてBRT（高速バス輸送システム）が運行されている。

【図表】 構成市町の交通状況



（資料：国土交通省国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス）

○鉄道利用の状況

常磐線の羽鳥駅、石岡駅、高浜駅、神立駅及び水戸駅の乗車人員は平成 27 年から 29 年の 3 年間は、ほぼ横ばいとなっている。

【図表】 鉄道駅の一日常乗車人員（単位：人/日）

駅名	種別	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	参考：人口
羽鳥駅	定期外	504	510	519	小美玉市 50,911 人 (H27 国勢調査)
	定期	1,796	1,809	1,794	
	合計	2,301	2,319	2,313	
石岡駅	定期外	1,746	1,754	1,788	石岡市 76,020 人 (H27 国勢調査)
	定期	3,959	3,869	3,853	
	合計	5,705	5,624	5,642	
高浜駅	定期外	344	337	349	土浦市 140,804 人 (H27 国勢調査)
	定期	801	807	829	
	合計	1,145	1,145	1,179	
神立駅	定期外	1,254	1,237	1,253	水戸市 270,783 人 (H27 国勢調査)
	定期	4,277	4,184	4,214	
	合計	5,532	5,422	5,468	
水戸駅	定期外	10,241	10,429	10,638	
	定期	19,525	19,604	19,510	
	合計	29,767	30,034	30,148	

（資料：ＪＲ東日本ホームページ）

○バスの路線状況

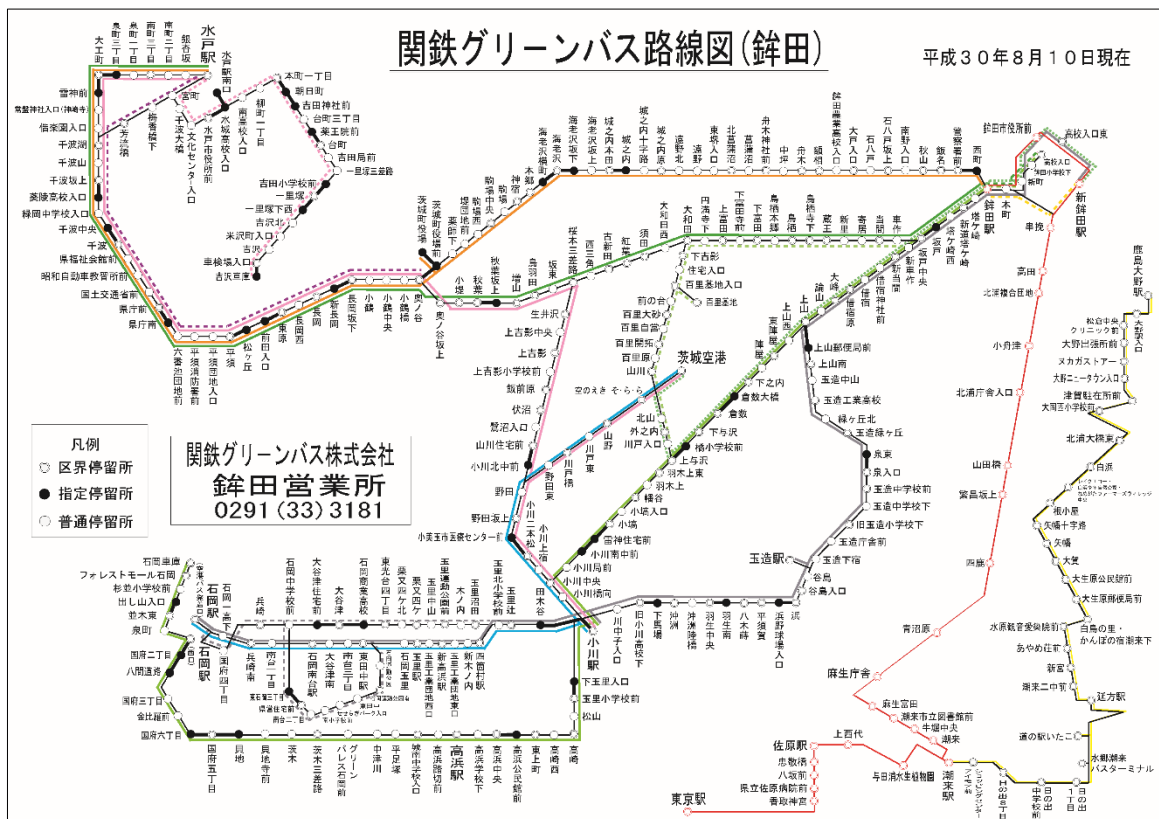
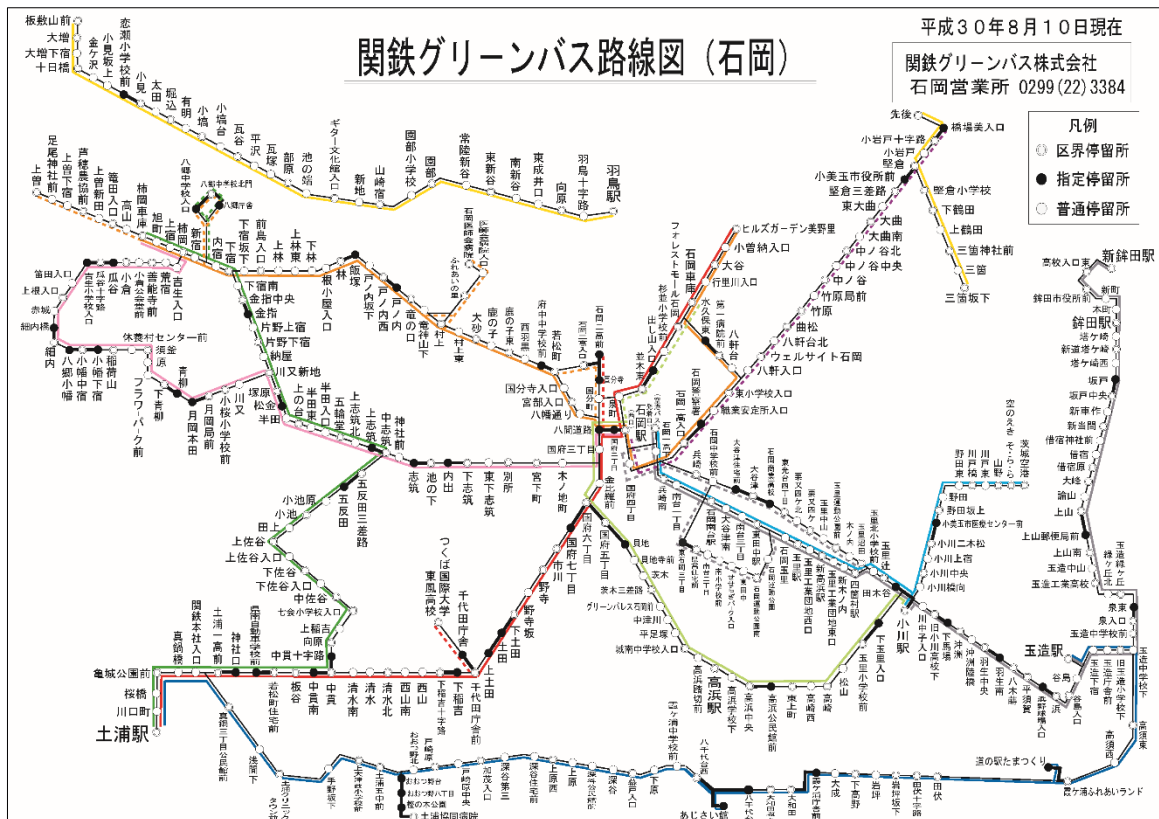
構成市町のバス路線は主に鉄道駅を発着場にして運行されている。このうち、一日に10本以上運行されているバス路線は、石岡駅発の茨城空港行きや小川駅行き、同じく石岡駅発の柿岡車庫行きなどに限られており、ほとんどの路線は一日10本未満で運行されている。総じて構成市町のバス路線の利便性は低いと言える。これらの民間路線バスとは別に、小美玉市では市内循環バス（2ルート）と地域循環バス（3ルート）、石岡市では乗合いタクシー（乗合いタウンメイト）、かすみがうら市では乗り合いタクシーが公共移動手段として整備されている。新広域ごみ処理場の最寄りのバス停は石岡市東上町で、高浜駅と鉾田駅を結ぶ路線上にある。バス便が一日3本で、かつバス停から1kmほど離れており、新広域ごみ処理場へのバスによるアクセスは不便である。

【図表】 主なバス路線の便数

発着場	行き先	平日	休日	発着場	行き先	平日	休日
石岡駅	土浦駅(下稻吉経由)	8本	6本	石岡駅	鉾田駅・新鉾田駅	13本	10本
	柿岡車庫・八郷小幡	5本	4本		玉造駅	1本	—
	鉾田駅(高浜経由)	3本	1本		小川駅	13本	7本
	水戸駅(堅蔵経由)	8本	4本		南台循環	2本	—
	石岡車庫(第一病院経由)	5本	5本	茨城 空港	水戸駅	7本	7本
	柿岡車庫(鹿の子経由)	22本	16本		石岡駅	17本	17本
	石岡車庫(並木東経由)	12本	13本	高浜駅	石岡駅	3本	1本
	石岡二高	1本	—		鉾田駅	3本	1本
	茨城空港	17本	17本	羽鳥駅	板敷山前	7本	6本

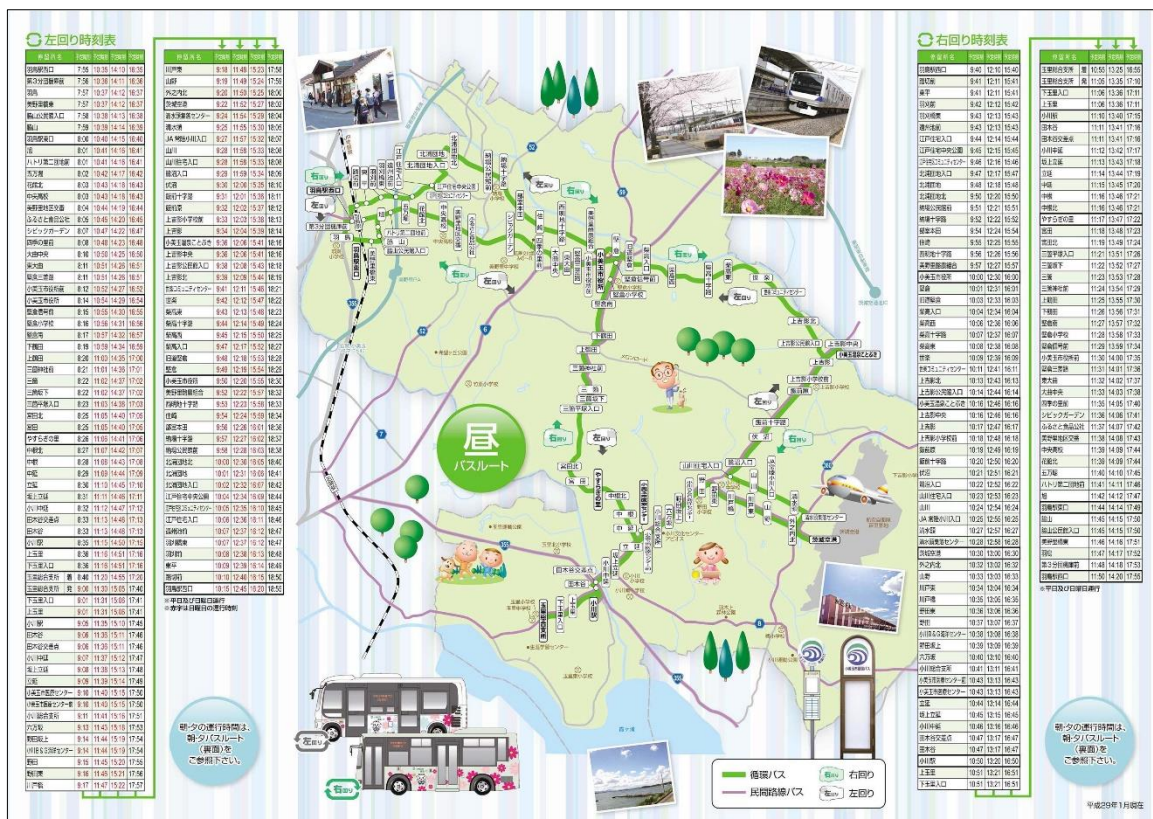
(関東鉄道資料より作成)

【図表】 民間路線バスのルート図

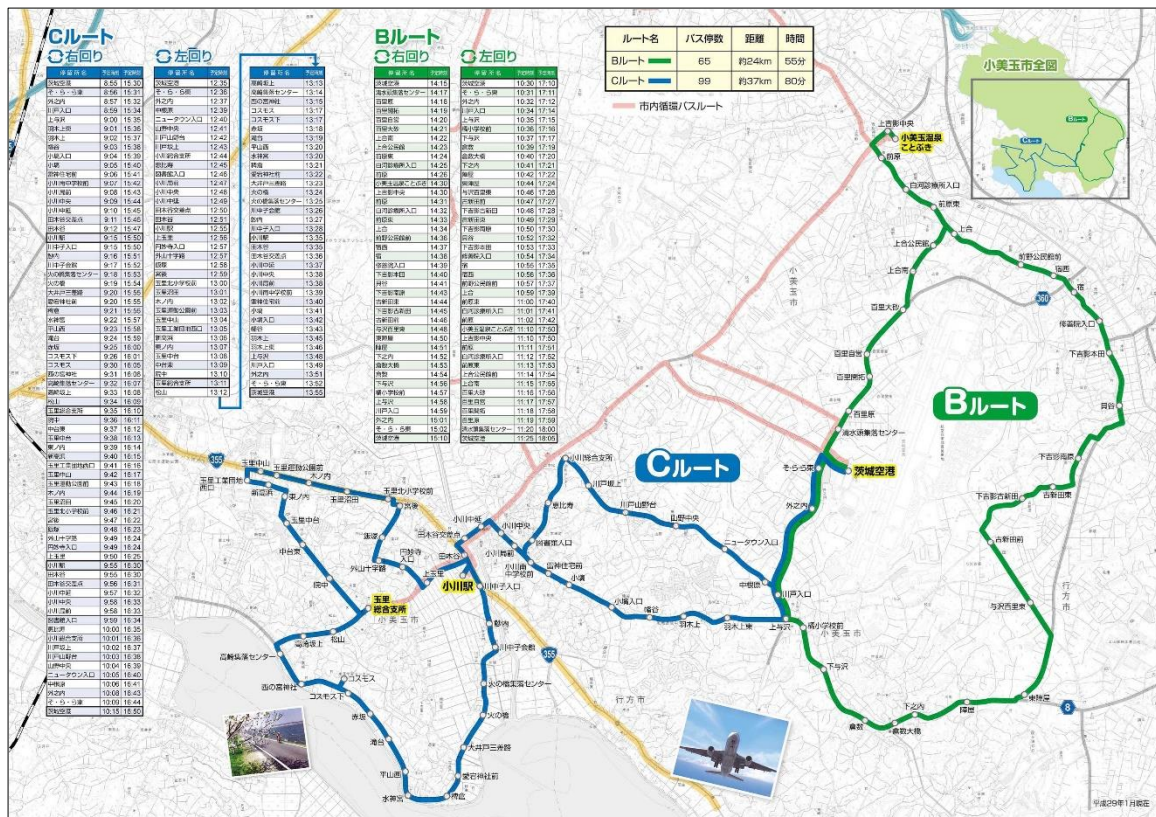
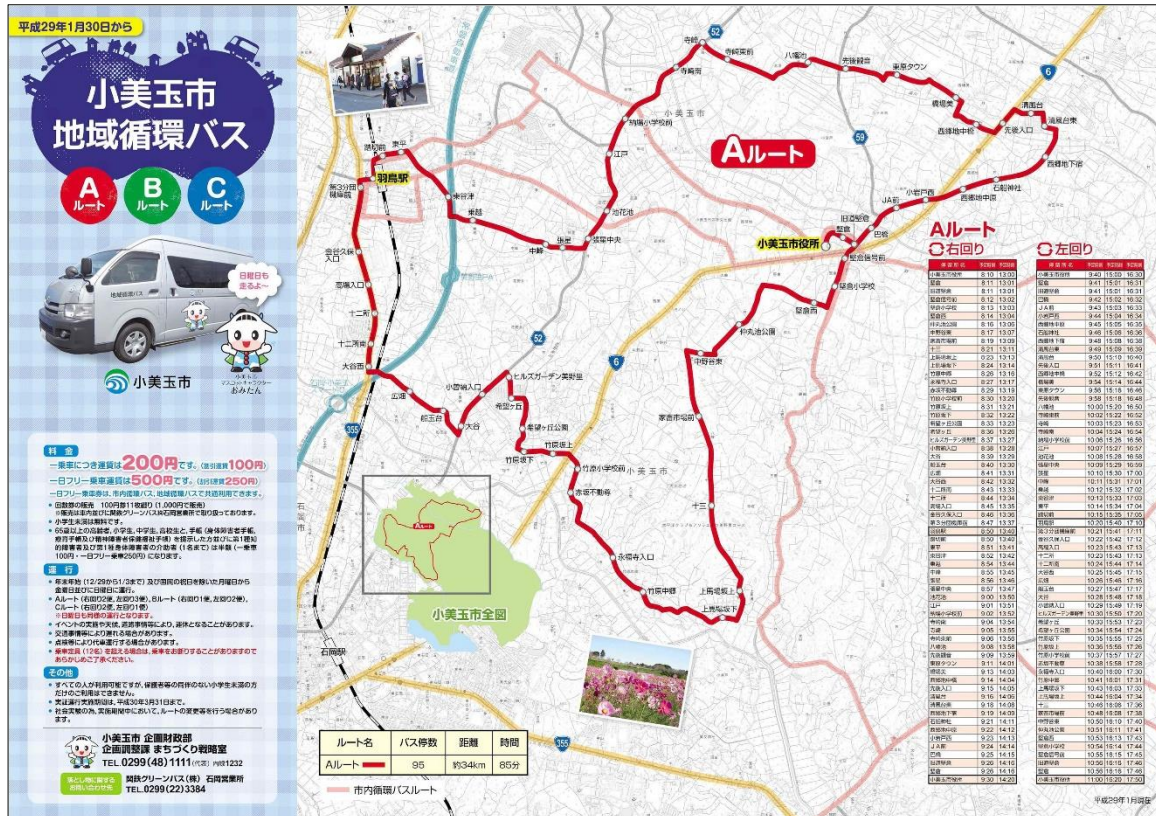


（資料：関鉄グリーンバス株式会社ホームページ）

【図表】 市内循環バスのルート図



【図表】 地域循環バスのルート図



(資料：小美玉市ホームページ)

(5) 都市計画

都市計画区域は、行政区域の大半において指定されている。指定区域外となっているのは、山地や湖沼などである。

区域区分は、かすみがうら市及び茨城町では都市計画区域の全域で実施されているが、石岡市では線引きされていない地域が多く、石岡市の八郷地区が該当する。また、小美玉市では都市計画区域全域で実施されていない。両地域では、人口減少により市街地拡大の可能性が低いこと、農業振興法や森林法などの他の法令によって自然的な土地利用は概ね保存されていることの二点を、区域区分を実施していない理由に挙げている。

用途地域が指定されている区域は構成市町とも小さく、行政区域の数%に留まる。駅前など都市活力の維持と居住環境の調和が必要な地域、工業団地など土地利用転換が実施された地域を中心に用途地域指定による土地利用規制を敷いている。

新広域ごみ処理施設の周辺は都市計画区域に指定されているが、区域区分及び用途地域の指定は実施されていない。

また、新広域ごみ処理施設の区域は、平成 29 年 12 月に都市計画変更し、都市施設のその他の施設として位置づけられている。

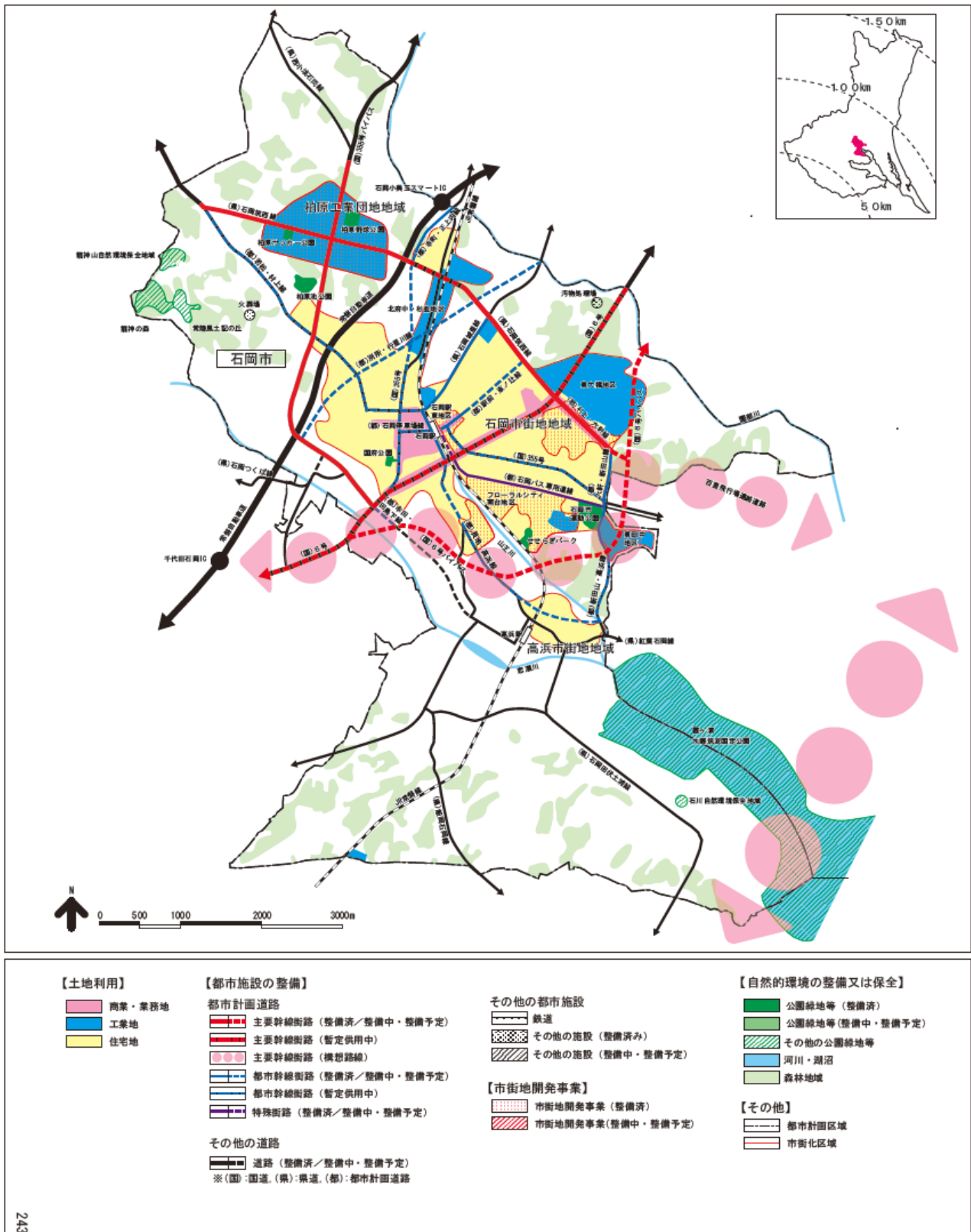
【図表】 都市計画にかかる面積の内訳

市町	石岡市	小美玉市	かすみがうら市	茨城町
行政区域名積	21,553ha	14,474ha	12,158ha	15,660ha
都市計画区域面積	19,883ha (92%)	14,162ha (98%)	9,000ha (74%)	12,158ha (78%)
市街化区域面積	1,410ha (7%)	—	754ha (6%)	503ha (3%)
市街化調整区域面積	4,921ha (25%)	—	8,246ha (68%)	11,655ha (75%)
用途地域指定区域面積	1,615ha (7%)	512ha (4%)	754ha (6%)	503ha (3%)

※括弧内の割合は行政区域に閉める当該区域の面積比率

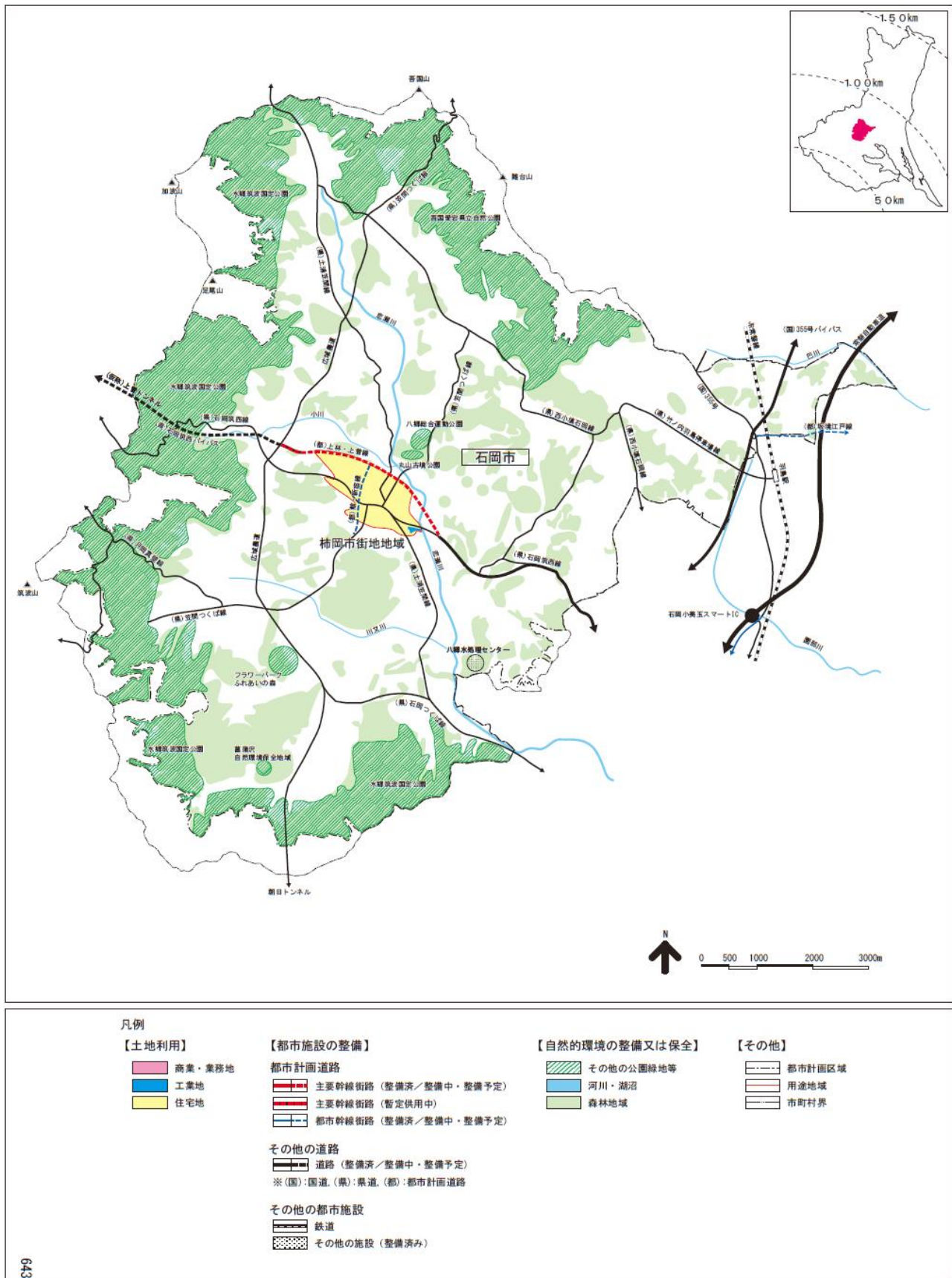
(資料：平成 28 年全国都道府県市町村面積調、平成 28 年都市計画現況調査)

【図表】 石岡市石岡地区の都市計画の状況



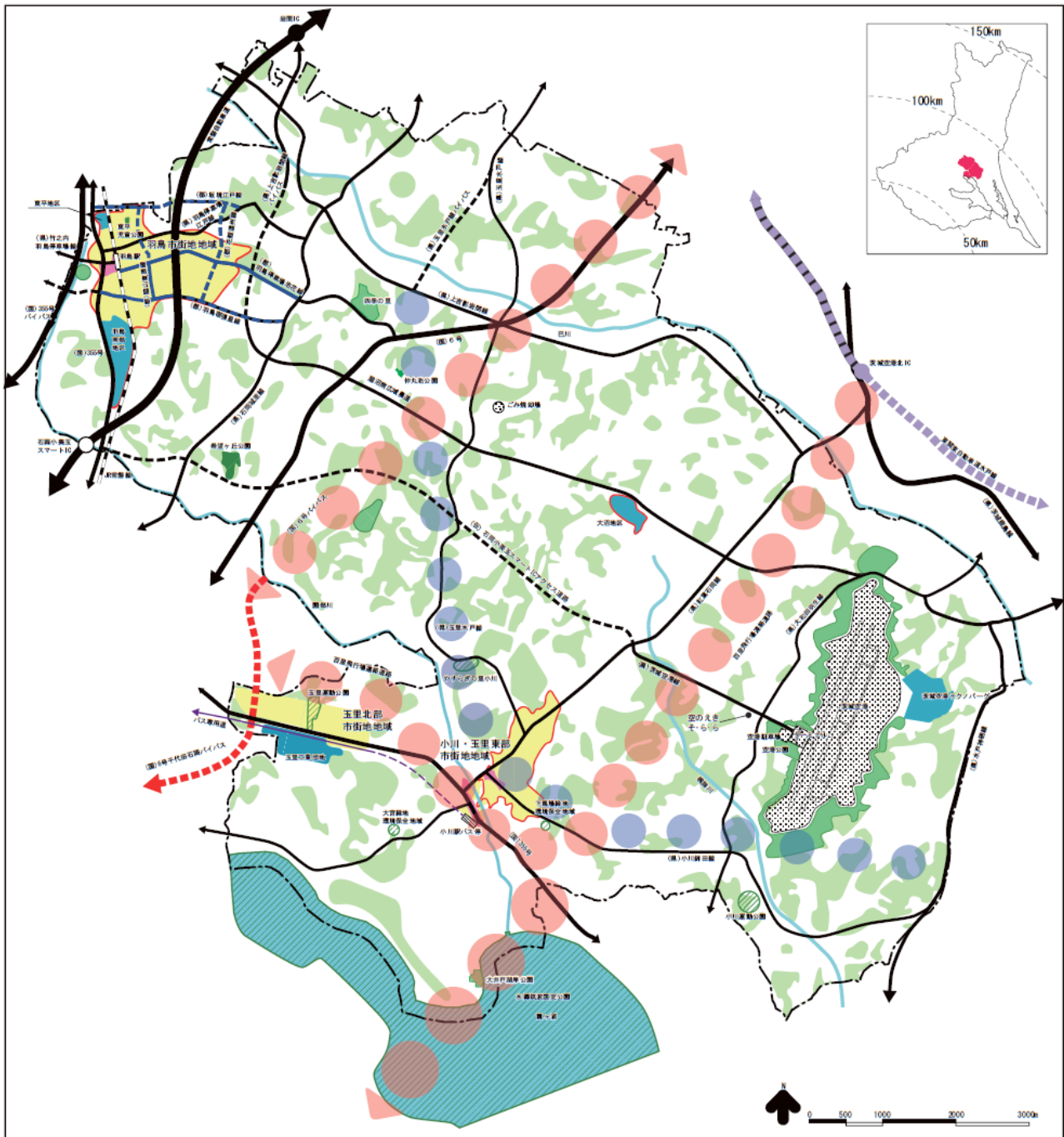
(資料：茨城県 石岡都市計画区域都市計画マスタープラン平成28年5月16日告示)

【図表】 石岡市八郷地区の都市計画の状況



（資料：茨城県 八郷都市計画区域都市計画マスタープラン平成 28 年 5 月 16 日告示）

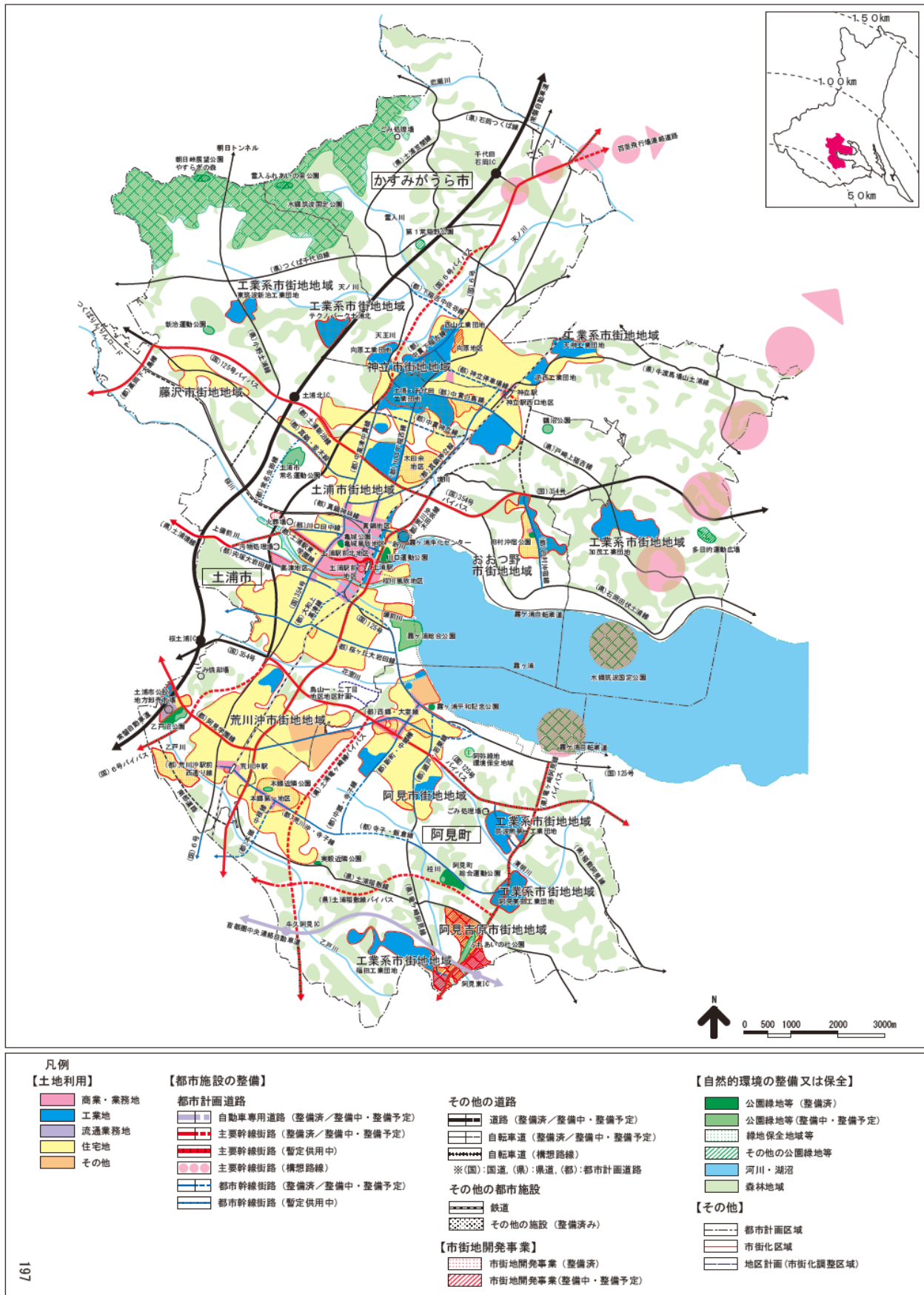
【図表】小美玉市の都市計画の状況



<p>凡例</p>			
<p>【土地利用】</p>			
<p>商業・業務地 工業地 住宅地</p>			
<p>【都市施設の整備】</p>			
<p>都市計画道路 自動車専用道路（整備済／整備中・整備予定） 自動車専用道路（暫定供用中） 主要幹線街路（整備済／整備中・整備予定） 主要幹線街路（構想路線） 都市幹線街路（整備済／整備中・整備予定） 都市幹線街路（暫定供用中） 都市幹線街路（構想路線） その他の道路 道路（整備済／整備中・整備予定） BRT路線（整備済／整備中・整備予定） ※（国）：国道、（県）：県道、（都）：都市計画道路</p>			
<p>【その他の都市施設】</p>			
<p>鉄道 その他の施設（整備済） その他の施設（整備中又は整備予定）</p>			
<p>【自然環境の整備又は保全】</p>			
<p>公園緑地等（整備済） 公園緑地等（整備中・整備予定） その他の公園緑地等 河川・湖沼 森林地域</p>			
<p>【その他】</p>			
<p>都市計画区域 用途地域</p>			

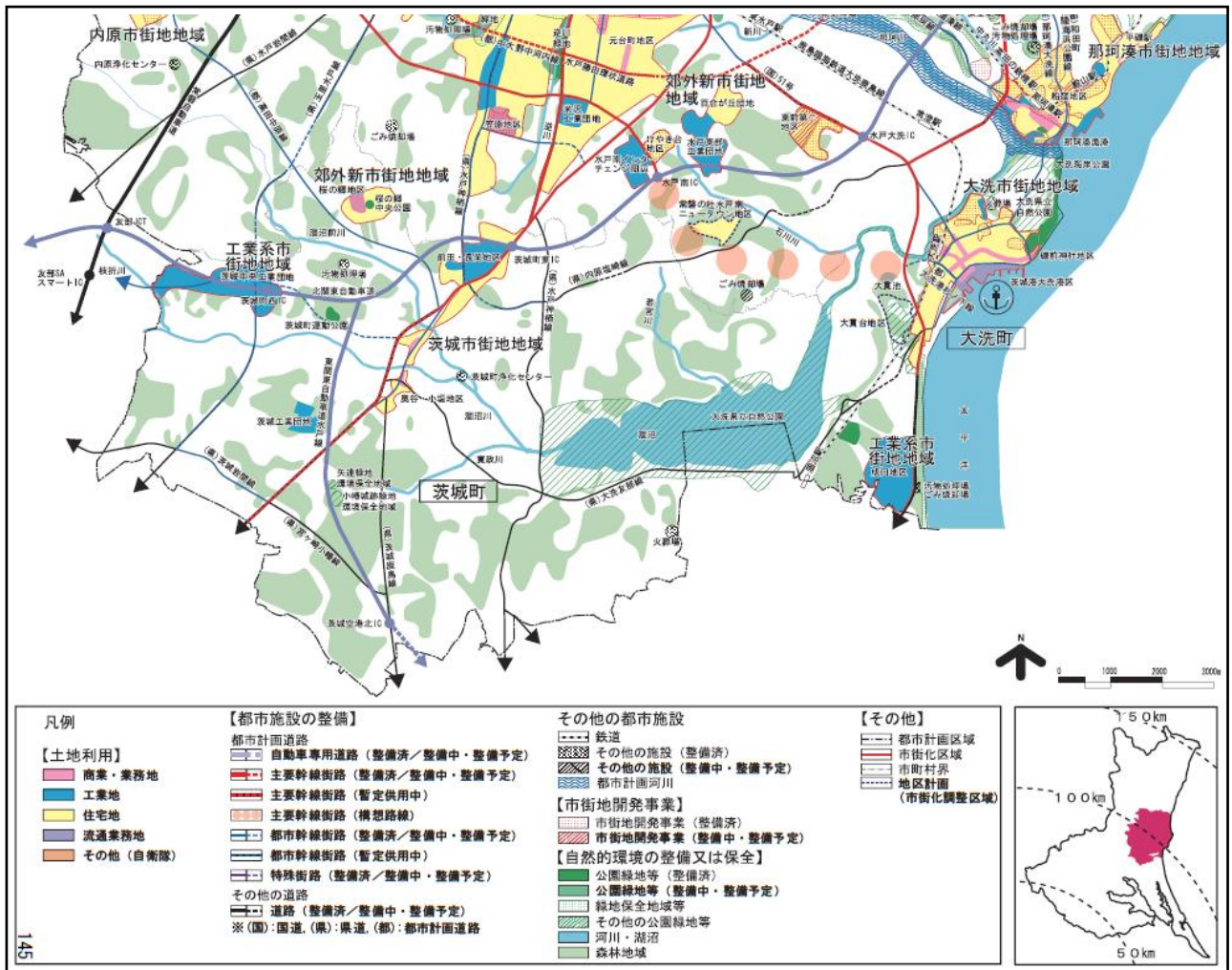
（資料：茨城県 小美玉都市計画区域都市計画マスタープラン平成28年5月16日告示）

【図表】かすみがうら市の都市計画の状況



（資料：茨城県 土浦・阿見都市計画区域都市計画マスタープラン平成28年5月16日告示）

【図表】茨城町の都市計画の状況



（資料：茨城県 水戸・勝田都市計画区域都市計画マスタープラン平成 28 年 5 月 16 日告示）

2-2 類似施設の整備状況

本節では、類似施設として下表に示す3種の施設を取り上げる。また、3種の施設の整備状況について、公共施設と民間施設に分けて、施設内容や立地状況などを整理する。

【図表】 類似施設の種別

種別	概要	公共施設例	民間施設例
スポーツ交流系施設	地域住民にスポーツを通じた自己実現や社会参画を促す施設	体育館やプール等の屋内運動施設	スポーツクラブやフィットネスなど
健康増進・福祉系施設	地域住民の健康づくりや生きがい、ふれあいを支援する施設	保健センター、福祉センター、子育て支援など	トレーニングジムや体操教室など
温浴系施設	温浴を通じた地域住民の交流を促す施設	浴場を備える保養施設など	スーパー銭湯、健康ランドなど

民間の類似施設は、本構想の地域還元施設にとって競合関係となる施設である。したがって、施設データの収集範囲を構成市町の範囲より広げた方が有効である。特に、スポーツ交流系施設や温浴系施設は広域から集客する施設であるので、広域利用の視点は重要である。2-1 (3)人口・世帯等の動向において、構成市町の通勤・通学者が構成市町だけでなく、水戸市や土浦市へも通っていることを確認しており、利用者の移動範囲に含まれることから、本項では民間の類似施設の収集範囲を構成市町、及び水戸市と土浦市の一部とする。

(1) 類似施設の整備状況

○概要

公共の類似施設は、構成市町の公共施設等総合管理計画等を引用して、合計34の施設の情報を収集した。スポーツ交流系施設、健康増進・福祉系施設は構成市町とも整備されている。一方、温浴系施設は石岡市、小美玉市、茨城町にそれぞれ1施設が整備されている。

【図表】 構成市町における公共の類似施設の数

施設種別	スポーツ交流系	健康増進・福祉系	温浴系	計
石岡市	8	6	1	15
小美玉市	3	3	1	7
かすみがうら市	4	5	1	10
茨城町	1	1	0	2
計	16	15	3	34

(資料：構成市町の公共施設等総合管理計画など)

民間の類似施設は、(株)クラブビジネスジャパンなど業界団体のホームページを参考にして、各施設のホームページをインターネットで検索し、構成市町で7施設の情報を収集した。その他に水戸市で14施設、土浦市で8施設の情報を収集した。人口が27万人いる水戸市には各種施設が多く立地しているので、特に隣接する茨城町では水戸市の広域利用施設との競合を強く意識する必要がある。

【図表】 民間の類似施設の数

施設種別	スポーツ交流系	健康増進・福祉系	温浴系	計
石岡市	1	1	1	3
小美玉市	0	1	0	1
かすみがうら市	1	0	1	2
茨城町	0	0	1	1
小計	2	2	3	7
水戸市	5	5	4	14
土浦市	2	4	2	8
計	9	11	9	29

○スポーツ交流系施設

公共のスポーツ交流系施設は、全体的に竣工から30年以上経過している施設が多く、大規模改修や建替えの検討が必要とされている。しかし、施設の老朽化や施設利用の広域化が進むことにより利用者の減少が進んでいる施設が多い。また、高い維持管理費が要因となって、公共施設等総合計画等において統廃合を含めた施設のあり方を検討する必要があると結論付けている場合が多い。

本構想の新地域還元施設においてスポーツ交流系施設を導入する場合、自治体が保有するスポーツ系の公共施設の再編に貢献できる。

【図表】 構成市町における公共のスポーツ交流系施設の整備状況と評価

市町	施設名	施設内容				延床面積	建築年	築年数
		屋内		屋外				
		体育館	プール	プール	その他			
石岡市	石岡運動公園体育館	●			●	6,562㎡	H2	28
	八郷総合運動公園	●			●	3,403㎡	S59	34
	石岡市海洋センター	●		●		1,750㎡	S61	32
	石岡小学校屋内温水プール		●			1,327㎡	H12	18
	朝日スポーツ交流施設	●				851㎡	H9	21
	旧有明中学校体育館	●				1,046㎡	S45	48
	石岡勤労青少年ホーム体育館	●				686㎡	S56	37
	城南地区公民館体育館	●				1,490㎡	S61	32
	評価	・大規模施設は減価償却相当額の負担が重い。 ・同機能施設の配置の検討、周辺自治体と広域連携などの検討が必要。						
小美玉市	小川海洋センター		●			7,549㎡	H3	27
	農村環境改善センター	●				1,912㎡	S54	39
	玉里海洋センター	●		●		4,752㎡	S59	34
	評価	・利用頻度が高く、避難所等の機能も担うので、適切な維持管理が必要。						
かすみがうら市	体育センター	●				1,495㎡	S60	33
	わかぐり運動公園	●			●	1,450㎡	S63	30
	第1常陸野公園	●		●		2,186㎡	S58	35
	働く女性の家	●				1,091㎡	S62	31
	評価	・高額な維持管理費に見合う収入の確保（受益者負担など）の検討が必要。 ・施設の統廃合や広域利用など利用実態に合わせた施設配置の検討が必要。						
茨城町	茨城町運動公園		●	●	●	6,800㎡	S54	39
	評価	・サービスの維持や管理費低減のため適切な修繕の実施など長寿命化を検討。 ・使用料の適正化、広域利用の可能性について検討。						

（資料：構成市町の公共施設等総合管理計画など）

民間のスポーツ交流系施設は、ジムやプールを備えた民間スポーツクラブは石岡市とかすみがうら市に1件ずつ立地している。また、水戸市には少なくとも5件、土浦市には2件立地している。

【図表】 民間のスポーツ交流系施設の整備状況

市町	施設名	施設内容				
		ジム	スタジオ	プール	浴室	その他
石岡市	スポーツプラザ山新石岡	●	●	●	●	
かすみがうら市	フィットネスクラブスパーク千代田	●	●	●	●	気泡プール
水戸市	スポーツクラブネサンス水戸	●	●	●	●	テニスコート、スカッシュ
	ジェルスイミングクラブ水戸			●		
	ダンロップスポーツクラブ水戸	●	●	●	●	テニスコート
	トップウェルネス水戸	●	●	●	●	カルチャー用教室、和室
	スポーツクラブアクアメディエクス	●	●	●	●	歩行用プール
土浦市	スポーツアカデミー土浦	●	●	●	●	
	スポーツクラブNAC	●	●	●	●	

(資料：各クラブのホームページ)

○健康増進・福祉系施設

公共の健康増進・福祉系施設は、各保健センターが公共施設等総合管理計画等において、施設更新が必要であるとの評価が多い。特に、石岡市石岡地区、小美玉市玉里地区、かすみがうら市の保健センターは、施設更新が課題とされている。

一方、平成になってから健康と福祉の複合施設の建設が見られるようになり、下記の3施設が該当する。

- ・ひまわりの館（石岡市）：健康体操や料理教室などを通して市民のふれあいを支援
- ・やまゆり館（かすみがうら市）：子育て相談と健康指導の複合施設
- ・ゆうゆう館（茨城町）：保健、福祉、子育て支援、図書館等の複合施設

施設を多目的化すると、施設利用者の利便性が増すとともに、多世代の住民が集まるメリットがある。健康増進・福祉系施設は地域の利便性を高める効果があり、地域住民に受け入れやすい施設である。施設の多目的利用や機能の複合化を実現することで、利用者の幅が広がる。

【図表】 構成市町における健康増進・福祉系施設の整備状況と評価

市町	施設名	施設内容						延床面積	建築年	築年数
		健康相談	トレーニング室	子育て支援	児童館	集会施設	その他			
石岡市	石岡保健センター	●						1,665㎡	S54	39
	八郷保健センター	●	●					1,870㎡	H7	23
	ひまわりの館		●			●	浴室	5,146㎡	H11	19
	児童館				●			165㎡	S38	55
	児童センター				●			418㎡	S55	38
	子育て支援センター			●				1,426㎡	H21	9
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・石岡保健センターは重要部位の劣化が生じており、修繕等が必要。八郷保健センターは重要部位の劣化が生じており、修繕等が必要。また、利用者1人当たりのコストは石岡保健センターの方が八郷保健センターよりやや低い。 ・ひまわりの館は個人や団体の教養活動に寄与している施設で、老人ホームを併設するなど地域の拠点施設となっている。利用者は堅調に推移。 								
小美玉市	玉里保健福祉センター	●					高齢者サロン	1,904㎡	S55	38
	小川保健相談センター	●						1,086㎡	H3	27
	四季健康館	●	●				浴室	2,804㎡	H8	22
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・玉里保健福祉センターは身近な地域における保健サービスを提供する施設として必要だが、関係施設の更新が必要。 ・玉里保健福祉センターはH8に大規模改修を実施。 ・施設のあり方を含めた更新方法の検討が必要。 								
かすみがうら市	千代田保健センター	●						644㎡	S57	36
	霞ヶ浦保健センター	●						769㎡	S62	31
	大塚ふれあいセンター				●	●	調理室	299㎡	H8	22
	あじさい館		●			●	図書館・浴室	2,197㎡	H10	20
	やまゆり館		●	●		●	足湯	1,025㎡	H20	10
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田保健センターと霞ヶ浦保健センターは緊急避難場所に指定されているが、建築以来30年以上が経過しており、地域事業の再編とともに、施設の多目的利用などが必要。 ・あじさい館の利用者の8割が浴室を利用。利用者は堅調だが、維持管理費用が高い。 ・やまゆり館は子育てルーム、健康づくりコーナーの利用が多い。 								
茨城町	ゆうゆう館	●		●			図書館	6,800㎡	H7	23
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうゆう館は、幅広い世代の利用が多い。 ・安全面に配慮した施設管理、適切な点検・修繕が必要。 								

(資料：構成市町の公共施設等総合管理計画など)

民間の健康増進・福祉系施設は、福祉施設との複合は見られないが、健康増進については、健康体操やヨガ、ジムによるトレーニングを提供するスポーツクラブなどがある。施設としては比較的小規模な100～500 m²程度のスペースでサービスを提供している。事業内容を特化することによって、きめ細かなサービスで利用者の満足度を向上させ、小さな事業規模や商圈でも事業を成立させている点は注目に値する。

【図表】 民間の健康増進系施設の整備状況

クラブ名	概要	数量
カーブス	女性専用の健康体操教室。1回30分のサーキットトレーニングを女性スタッフが指導。	石岡市1件、小美玉市1件 水戸市3件、土浦市2件
ライザップ	数ヶ月で大幅な体重減量と体型改善を目指す個室ジム。	水戸市1件 土浦市1件
LAVA	ホットヨガスタジオ。日本人女性に合わせたプログラムで1回1時間のレッスンを実施。	水戸市1件
アクトスwill	月会費のみで利用できるジム。ランニングマシン、ストレングスマシンなど。	土浦市1件

(資料：各クラブのホームページ)

○温浴系施設

公共の温浴系施設は構成市町で3件あるが、いずれも比較的築年数の浅い施設である。また、利用者数や利用満足度は好調なようである。

【図表】 構成市町における温浴系施設の整備状況と評価

市町	施設名		施設内容	延床面積	建築年	築年数
石岡市	やさと温泉ゆりの郷		浴場、休憩室、個室、レストラン、物産館等	1,784㎡	H12	18
	評価	・やさと温泉ゆりの郷は指定管理者制度の導入により効率的な運営を実施、利用者は平成27年度までは増加、平成28年度からは減少。				
小美玉市	小美玉温泉ことぶき		浴場、大広間、休憩室（個室）、食事処、グラウンドゴルフ場	852㎡	H24	6
	評価	・小美玉温泉ことぶきは指定管理者制度の導入は未実施。施設・サービスの満足度は「施設もサービスも満足」が48.9%。				
かすみがうら市	農村環境改善センター		大会議室、農事研修室研修室、生活実習室、浴場	1,191㎡	S59	34
	評価	評価なし				
茨城町	該当施設なし					
	評価	該当施設なし				

（資料：構成市町の公共施設等総合管理計画など）

民間の温浴系施設は、構成市町ではかすみがうら市及び石岡市に健康ランド、茨城町にスパが1件ずつある。水戸市まで広く見れば、概ね3年ごとに新しい施設が設置されている。民間における温浴系施設の競合関係の厳しさが窺える。

【図表】 民間の温浴系施設の整備状況

施設名	所在地	施設種別			開業年	備考
		健康ランド	スーパー銭湯	スパ・岩盤浴		
石岡健康センター	石岡市	●			H18	竣工はH2
千代田ラドン温泉センター	かすみがうら市	●			H15	竣工はH2
岩盤温浴リゾートココプララ	茨城町			●	H29	桜の郷整備事業（県）
いやしの里	土浦市	●			H15	（ヒアリング結果：15年位前）
湯楽の里	土浦市		●		H13	
ゆらいや御老公の湯水戸店	水戸市	●			H19	
いちの湯水戸店	水戸市		●		H25	
極楽湯水戸店	水戸市		●		H26	
スーパー銭湯やまの湯	水戸市		●		H10	

（資料：各施設のホームページ）

（2）各種施設の分布状況

全体的に石岡市の市街地、かすみがうら市千代田地区の市街地に類似施設が集まっている。新広域ごみ処理施設の位置より 10km を超えると土浦駅前に、20km を超えると水戸市の市街地に類似施設が集中している。また、公共運営の施設は郊外部に立地しているものが多くある一方で、民間運営の施設は鉄道や国道 6 号の周辺に立地する傾向が強い。

以下は、施設の種別ごとに分布状況を概観したものである。

○スポーツ交流系施設

新広域ごみ処理施設の位置より 10km の範囲に公共運営の施設が 9 件、民間運営の施設が 2 件ある。公共運営の施設では、石岡小学校屋内温水プールが築 18 年である他は、いずれも竣工から 30 年程度経過して老朽化が課題となっており、施設の統廃合を含めた検討が必要となっている。一方、民間運営の施設は 2 件ともに国道 6 号に近い市街地に立地している。

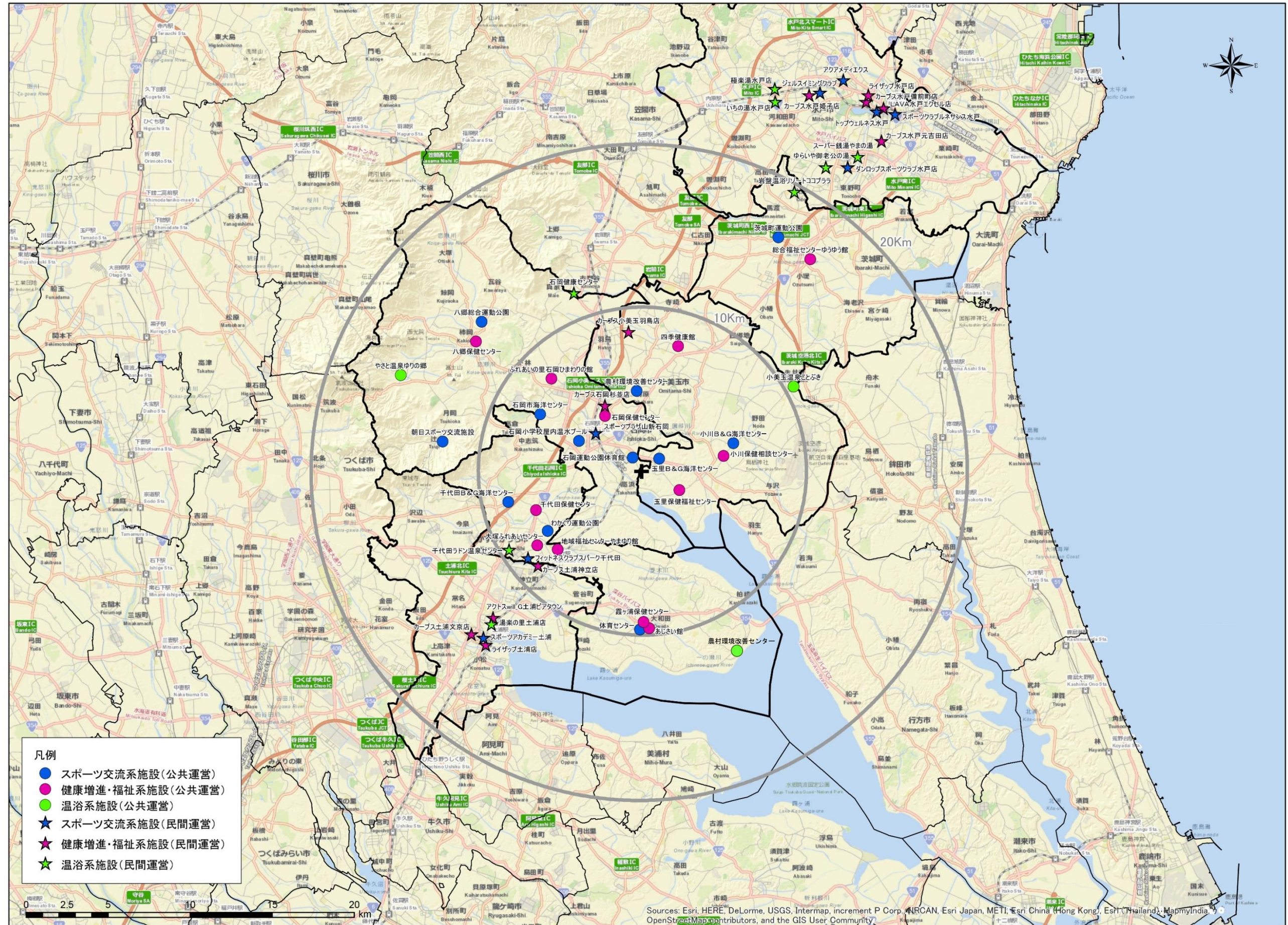
○健康増進・福祉系施設

新広域ごみ処理施設の位置より 10km の範囲に公共運営の施設が 10 件、民間運営の施設が 3 件ある。公共運営の施設は合併前の市町に最低 1 件は立地するなど、分散して立地している傾向が強い。一方、民間運営の施設は全て同じ事業者による施設である。この事業者の出店条件は住宅街やスーパーマーケット周辺など主婦が集まりやすい場所であり、当該地においても駅が近いなどの交通条件に関わり無く立地している場合がある。

○温浴系施設

新広域ごみ処理施設の位置より 10km の範囲に 1 件（かすみがうら市 1 件）、10～20km の範囲に 7 件（石岡市 2 件、小美玉市 1 件、かすみがうら市 1 件、茨城町 1 件、土浦市 2 件）がある。自動車で 30 分程度の距離内に類似施設が 5 件ある。20km を超えると、4 件の温浴施設が立地する水戸市に到達する。

【図表】 類似施設の分布状況



2-3 関連上位計画の整理

(1) 収集した上位計画

地方公共団体が発行する総合計画、人口ビジョン、都市計画マスタープラン、高齢者福祉計画及びスポーツ推進計画、地域還元施設の上位計画としての一般廃棄物処理整備基本構想を上位計画として位置づけ、各計画との整合を図るため、その内容を整理した。本節で収集した上位計画の一覧を下表に示す。

【図表】 収集整理した上位計画の一覧

自治体	名称	計画者	計画期間
石岡市	総合計画	石岡かがやきビジョン	2012～2021
	人口ビジョン	まち・ひと・しごと創生石岡市人口ビジョン まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略	2015～2060 2015～2019
	都市計画マスタープラン	石岡市都市計画マスタープラン	2017～2036
	高齢者福祉計画	石岡ふれあい長寿プラン～第7期～	2018～2020
	スポーツ推進計画	石岡市スポーツ推進計画	2018～2025
小美玉市	総合計画	小美玉市第2次総合計画書	2018～2027
	人口ビジョン	小美玉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(案) 小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)	～2060
	都市計画マスタープラン	小美玉市都市計画マスタープラン	2010～2027
	高齢者福祉計画	小美玉市高齢者福祉計画	2018～2020
	スポーツ推進計画	小美玉市スポーツ振興基本計画	2010～2019
かすみがうら市	総合計画	第2次かすみがうら市総合計画	2017～2026
	人口ビジョン	かすみがうら市人口ビジョン かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略	2015～2060 2015～2019
	都市計画マスタープラン	かすみがうら市都市計画マスタープラン	2009～2028
	高齢者福祉計画	かすみがうら いきいき長寿プラン	2018～2020
茨城町	総合計画	茨城町第6次総合計画	2018～2027
	人口ビジョン	茨城町人口ビジョン 茨城町まち・ひと・しごと創生総合戦略	2015～2060 2015～2019
	都市計画マスタープラン	茨城町都市計画マスタープラン	2016～2035
	高齢者福祉計画	茨城町高齢者福祉計画	2018～2020
霞台厚生 施設組合	廃棄物処理	一般廃棄物処理施設整備基本構想	2016～2028

(2) 地域還元施設のあり方に関する情報整理

白雲荘は開設以来 40 年近く、高齢者の健康づくりや余暇活動、地域の福祉、ゲートボールなどスポーツ交流について、地域住民に活動の場を提供してきた。そこで、本項では、各上位計画を高齢者の健康づくり、地域福祉、スポーツ交流の 3 点を中心に概観した。別頁で一覧表を整理するとともに、概要を以下のように整理した。

○総合計画

人口の高齢化を反映して、構成市町ともに高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりを施策目標の一つに掲げている。健康づくりを通して高齢者の社会参加や交流を促進し、高齢者の健康寿命の延伸によって介護負担の軽減を図っているものと窺える。

また、社会参加活動のツールの一つとしてスポーツ活動を採り上げており、高齢者だけでなくあらゆる世代との交流を促進することとしている。

○人口ビジョン

人口減少による活力低下を抑えるために、若い世代の結婚の促進、子育て環境の充実、定住促進などを目標とする場合が多い。その中で、石岡市では、交流人口の拡大による地域活性化を目標としている。これには「やさ温泉ゆりの郷」をはじめとする観光資源の充実を伴う施策が関与している。

また、高齢者を中心とした地域住民が気軽に集まることのできる地域拠点づくりを進めているのは、石岡市とかすみがうら市である。地縁的なコミュニティの強化によって暮らしやすい環境づくりや災害への対応力の強化を図ることとしている。

一方、若い世代が安心して子育てが出来るような社会経済環境の実現を目指しているのは、小美玉市と茨城町である。

○都市計画マスタープラン

人口減少による活力低下が懸念されており、地域コミュニティを維持する拠点形成が課題となっている。構成市町はいずれも都市的な土地利用と農村的な土地利用が混在しており、それぞれの地域特性に応じた拠点づくりが求められている。

また、厳しい財政事情を反映して、既存の公共公益施設を有効に活用しつつ、利便性や質が高い公益サービスを提供する拠点形成が求められている。

○高齢者福祉計画

介護サービスを充実させるとともに、高齢者が長寿で健康に暮らせるような環境整備が求められている。健康に関する講座や教室を行う団体や住民の支援、健康づくりやスポーツなどを体験学習する機会の充実など、生涯を通してスポーツ・レクリエーション活動に親しむ環境整備について取り組む必要があるとしている。

また、小美玉市では既存施設を有効活用して、高齢者の介護予防や生きがいをづくりに寄与する活動拠点の整備が求められている。

○スポーツ推進計画

スポーツ推進計画を策定しているのは、石岡市及び小美玉市の2つの自治体である。いずれの計画でも、児童の体力向上、働く世代の健康増進、高齢者や障害者の健康増進や社会参画などの手段としてスポーツの有効性を提唱し、活動機会を増加させるためにスポーツ施設やスポーツ教室の充実を図ることとしている。

○一般廃棄物処理施設整備基本構想

地域還元施設として道路と余熱利用施設が位置づけられている。このうち、余熱利用施設は従来の福祉及び健康の増進、災害時の拠点機能としての公共施設との連携が想定されている。

また、施設整備の際には、地域の意見や要望等を踏まえることと、財政負担に配慮することを条件としている。

【図表 上位計画の概要整理】（抜粋）

市町	石岡市	小美玉市	かすみがうら市	茨城町
総合計画	<p>政策目標</p> <p>○健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加活動などによる高齢者の自立支援 ・高齢者など見守り支援する地域福祉の充実等 <p>○歴史・文化・未来を育む学びのまちへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりがいきいきとした生活を送るための生涯学習や生涯スポーツの推進 等 	<p>基本目標</p> <p>○人を育てる学びの場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な世代がスポーツを楽しめる環境づくり ・総合型地域スポーツクラブの充実、施設整備 <p>○誰もがいきいきと暮らせる社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が生きがいを持って、自立した生活を送ることができる適切な支援・サービスの充実 	<p>基本目標</p> <p>○健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康意識の高揚、健康づくり事業の推進 等 <p>○豊かな学びと創造のまちづくり 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・レク活動など生涯学習の充実 等 	<p>分野目標</p> <p>○健やかでやさしい健康・福祉のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進（スポーツ・文化活動等） <p>○次代を担う人を育む教育・文化のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備充実（計画的な改修） ・スポーツ活動の普及促進
人口ビジョン	<p>基本目標</p> <p>○市の強みを活かした安定した雇用の創出</p> <p>○市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる（<u>交流人口の拡大、移住促進</u>）</p> <p>○若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる</p> <p>○時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る（地域の拠点づくりなど）</p>	<p>基本目標</p> <p>○恋も子育てもしたくなるまちになる</p> <p>○地域の宝を見つけ、磨き、光をあてるまちになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化のまちのストーリー、交流活性化 等 <p>○わくワークがとまらないまちになる</p> <p>○スーッと、ず～っと住めるまちになる</p>	<p>目指すべき将来の方向</p> <p>○安定した雇用を創出する</p> <p>○地域の魅力を磨き新しい人の流れをつくる</p> <p>○若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>○安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活性化（施設の有効活用） ・健康づくりの増進（スポーツ推進等） 	<p>基本的な考え方</p> <p>○人口減少と地域経済縮小への歯止め</p> <p>○まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立</p>
都市計画マスタープラン	<p>将来都市構造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの維持可能な都市づくり ・市街地と市街地外との空間の連携（<u>公共施設等既存ストックを活用した拠点性向上</u>） 	<p>まちづくりの視点</p> <p>○広域連携、市域の一体性を強化するまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共公益施設相互のネットワーク 等 <p>将来都市構造</p> <p>○まちを活性化し市民の交流を育む拠点の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賑わい交流拠点：公共施設集積地（小川）公園一体となった四季の里 ・都市農村交流拠点（玉里公民館など） 	<p>都市整備の課題</p> <p>○一体的な都市構造の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧千代田町と旧霞ヶ浦町の分断 <p>○都市計画区域のあり方</p> <p>公共・公益施設の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性が高く、質の高い公益サービス環境 ・高齢化の進展や都市防災、環境・景観への配慮 	<p>都市づくりの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性や安全性に配慮した公益施設の整備管理 ・都市基盤の更新等による定住促進 等 <p>都市づくりの目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城町らしさのある個性豊かな都市づくり（広域交通ネットワークを活用した連携・交流等）
高齢者福祉計画	<p>基本目標と重点課題</p> <p>○身近で安心な介護サービスの基盤づくり</p> <p>○いきいき・健康のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿でイキイキ暮らすまちづくり ・生涯現役プロジェクトの拡大（講座、教室等） <p>高齢者の生きがいづくりとスポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の推進と健康づくり <p>○やさしさあふれる地域づくり</p>	<p>基本目標と施策</p> <p>○介護予防・生きがいづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・地域主体の健康づくりの推進 ・趣味や生きがいづくりの促進（スポーツ活動等） ・活動拠点（既存施設の有効活用） <p>○住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるために</p> <p>○支えあえる地域づくりの推進</p> <p>○適切な介護サービスの提供と質の向上</p>	<p>施策の方針と基本施策</p> <p>○社会参加・生きがいづくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会活動の促進（情報、場所、機会の提供） ・生涯学習の推進 ・スポーツ健康づくりなど体験学習機会の充実 <p>○安全・安心な地域づくり</p> <p>○保健・医療・福祉事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康づくり、通い・交流の場など <p>○地域支援事業の充実</p>	<p>基本目標と主要施策</p> <p>○いきいきと自立し充実した生活づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きがいづくりと社会参加の促進 <p>生涯を通してスポーツ・レク活動に親しむ環境づくり</p> <p>体力づくりなど様々な交流の促進</p> <p>○支え合い安心して暮らせる地域づくり</p> <p>○高齢者の尊厳の保持と安全の確保</p>
スポーツ推進計画	<p>施策</p> <p>○生涯スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりのための各スポーツ教室の開催 ・健康体操講座の開催や同好会活動の支援 等 <p>○スポーツ施設の充実と有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設などの充実と維持管理 ・広域連携による施設利用 等 <p>○スポーツを通じたコミュニティづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツイベントの普及・啓発 ・児童・生徒の健康増進と体力向上の必要性理解 	<p>基本目標と施策</p> <p>○生涯スポーツの普及・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒、働く世代、高齢者、障害者 ・機会づくり、効果的な情報提供、社会参画等 <p>○スポーツ団体・指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブの設立・育成 ・指導者の資質向上等 <p>○スポーツ施設の整備充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中核施設の整備充実 ・連携による施設の相互利用 		

※下線部は本構想と特に関連の深いもの

2-4 地域住民の意向等について

(1) 住民の意向把握の調査方法

意向把握については、異なる対象に対して、次の3種類の調査を行った。

①モニタリング調査

旧地域還元施設の利用者を対象として、利用団体を通じてアンケートを実施

②構成市町の住民へのアンケート調査

無作為抽出による構成市町の住民（20歳以上）を対象に、郵便によるアンケート実施

③高校生によるフューチャーセッション

モニタリング調査やアンケート調査の対象にならない20歳未満を対象とした高校生によるワークショップ

(2) モニタリング調査

①調査概要

○調査方法

利用者団体を通じて白雲荘の利用者に郵送調査を行った。

○調査期間

平成30年6月（1か月で配布・回収）

○配布・回収状況

調査票の配布数は98票、回収数は71票で回収率は72%であった。

②調査結果

○集計方法

調査票は、自由記述形式のため、記載された内容を①施設（機能）、②サービス、③立地・その他の項目に分類し、分類毎に共通のキーワードを抽出し、キーワード数の集計を行った。したがって、回答者n=71人とし、記述内容に複数のキーワードが含まれることから、マルチアンサー形式の集計となっている。

○集計結果

高齢者福祉センター白雲荘の利用者を対象とした集計結果は以下のとおりです。

【施設（機能）に関して】

良かったことについての質問を行った回答からキーワードで施設に関するものを抽出した。その結果、風呂設備（24票）と地域交流（24票）で、その次にカラオケ（15票）となっている。

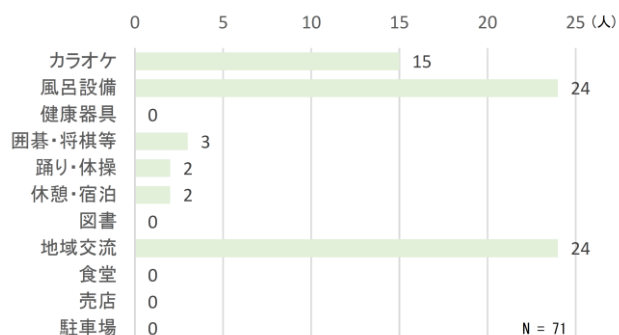
また、囲碁・将棋等（3票）、踊り・体操（2票）、休憩・宿泊（2票）は少数だが良かったと評価している。

一方、思い出に残っていることについては、地域交流（25票）が最も多く、次いでカラオケ（13票）、風呂設備（10票）となっており、次いで休憩・宿泊（7票）が続いている。

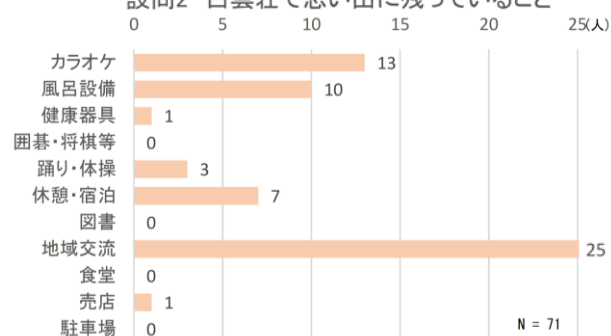
一方、白雲荘で不満に思っていること、施設についてみると、食堂（12票）と最も多く、当初あった食堂での食事や軽食がとれないことに関する記述が多く見られた。次いでカラオケ（7票）になっているが、カラオケについては施設そのものに対する不満ではなく、カラオケからの騒音に対する不満や静かな空間が欲しいといった記述が見られた。風呂設備（4票）に関しては、衛生面、小さい、入浴時間に対する不満が見られた。

新施設に必要な機能や設備を質問したところ、風呂設備（17票）で最も多く、次いで食堂（15票）、健康器具（10票）、休憩施設（6票）、地域交流（5票）図書室（5票）と続く。風呂には薬湯、露天風呂等の多様な風呂の整備を望む意見があった。弁当なしで来訪できるように食堂の設置や健康器具ではシルバー向けのトレーニングルーム等の設置を望む意見が見られた。

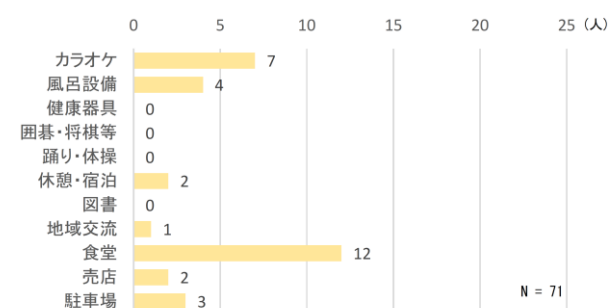
設問1 白雲荘でよかったこと



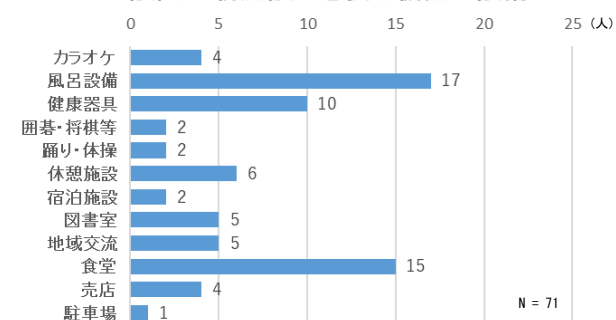
設問2 白雲荘で思い出に残っていること



設問3 白雲荘で不満に思っていたこと



設問4 新施設に必要な機能や設備



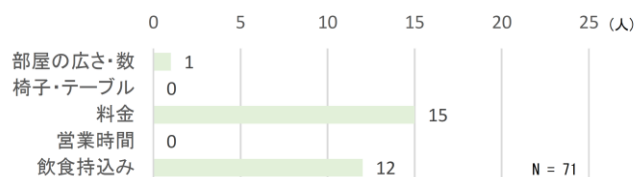
【提供サービス】

白雲荘で良かったことについての質問で、サービスに関する回答を抽出すると、料金（15票）が最も多く、次いで飲食持込み（12票）であった。

一方、不満に思っていることは、営業時間（4票）が最も多く、部屋の広さ・数（3票）、椅子・テーブル（2票）となっており利用者の不満は少ないと考えられる。

新施設に必要な機能や設備は、部屋の広さ・数（8票）、椅子・テーブル（7票）、料金（2票）の順となっている。

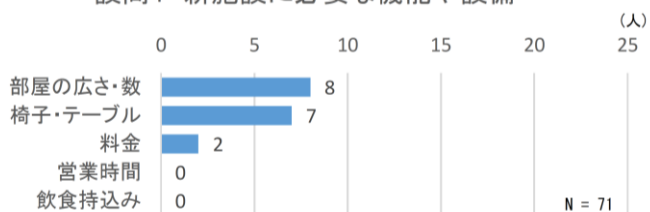
設問1 白雲荘でよかったこと



設問3 白雲荘で不満に思っていたこと



設問4 新施設に必要な機能や設備

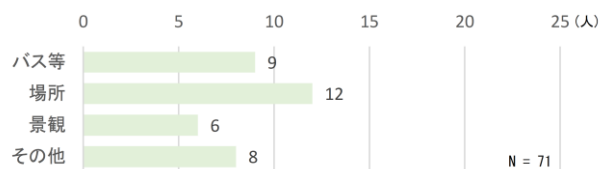


【立地・その他】

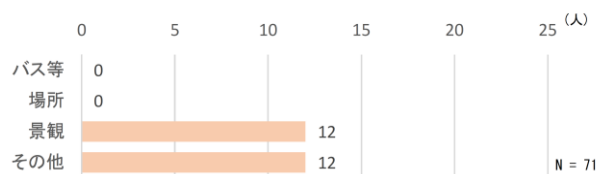
白雲荘で良かったことについての質問で、立地・その他に関する回答では、場所（12票）が最も多く、次いでバス等（9票）、その他（8票）、景観（6票）の順でした。その他の内容では、職員の対応が良かったと評価している。

白雲荘で思い出に残っていることについての質問では景観（12票）、その他（12票）が多くあげられている。その他の意見としては、玄関前のプランターのお花がきれいこと、職員さんが親切であったこと、プロのバンド・歌が聞けたこと、気軽に一人でも入場できたことなどの回答があった。

設問1 白雲荘でよかったこと



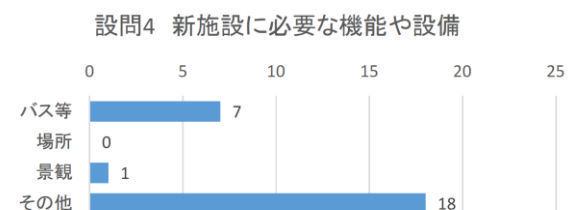
設問2 白雲荘で思い出に残っていること



不満に思っていることは、その他（8票）が最も多く、次にバス等（6票）となっており、その他の内容としては履物の管理ができていないことや履物の紛失等に関する記述が多く見られた。また場所（2票）については、家から遠いことをあげている。



新施設に必要な機能や設備では、その他（18票）が最も多く、次いでバス等（7票）、景観（1票）となっている。その他については、バリアフリー化に関する意見が多く、ニュースポーツ、IT 関連施設、ソフト面の充実、マッサージ器の無料化、グランドゴルフ、遊歩道の設置などの意見があった。



(3) 構成市町の住民へのアンケート調査

①調査概要

○調査方法

郵送調査によるアンケートで、下記の要領で実施した。

- ・アンケート配布数 3,000 人分を構成市町の人口割合で配分し、無作為抽出

○調査期間

- ・平成 30 年 9 月 1 日（土）～ 9 月 17 日（金）

○配布・回収状況

- ・配布数 3,000 人（構成市町に在住の 20 歳以上の方を対象）
- ・回収状況は下表のとおりで、全体では 24%となっている。

[地域別回答者数と回収率]

構成市町	配布数（人）	配布割合	回答数（人）	回収率	参考人口（割合）
石岡市	1,100	37%	276	25%	75,925（37%）
小美玉市	800	27%	206	26%	51,508（26%）
かすみがうら市	600	20%	118	20%	42,267（21%）
茨城町	500	16%	106	21%	32,998（16%）
不明	—	—	2	—	—
合計	3,000	100%	708	24%	202,698（100%）

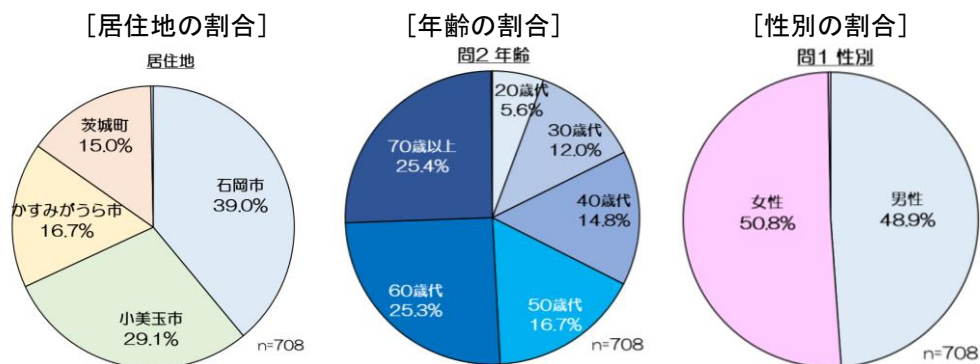
（注：人口は構成市町の統計データ住民基本台帳 平成 30 年 4 月時点を使用）

②調査結果

○集計結果

【回答者の属性】

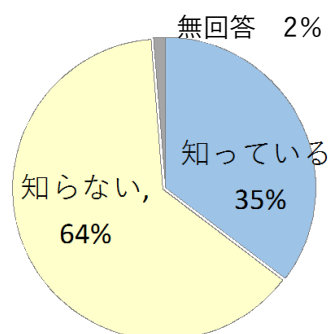
構成市町の回答者の属性は下記の通りである。年齢は60歳代、70歳代で回答者の半数を占めている。



【新広域ごみ処理施設について】

新広域ごみ処理施設について知らないという回答が約6割である。

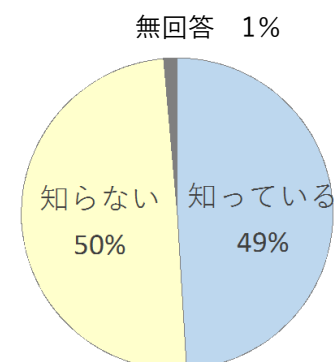
回 答	回答数（人）
知っている	250
知らない	449
無回答	9
計	708



【白雲荘について】

白雲荘を知っているという回答が約半数である。

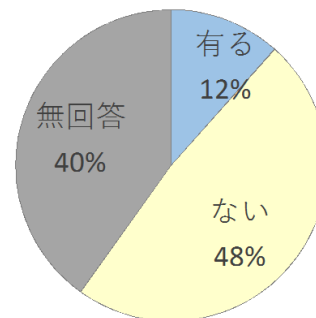
回 答	回答数（人）
知っている	347
知らない	351
無回答	10
計	708



【白雲荘の利用有無について】

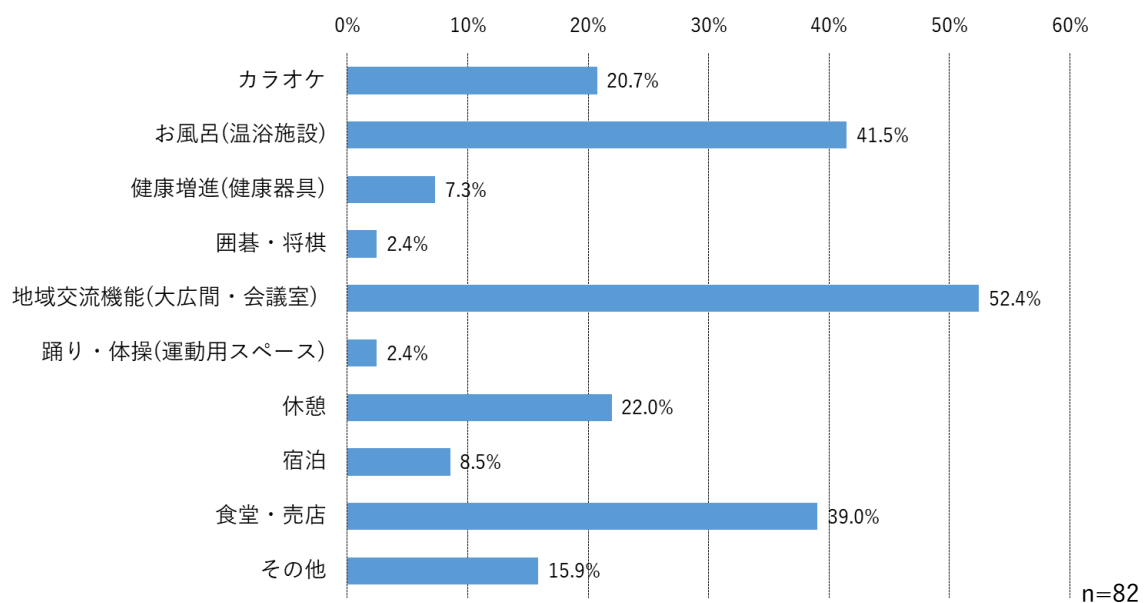
白雲荘を利用したことがないという回答が約半数である。

回 答	回答数（人）
有る	82
ない	342
無回答	284
計	708



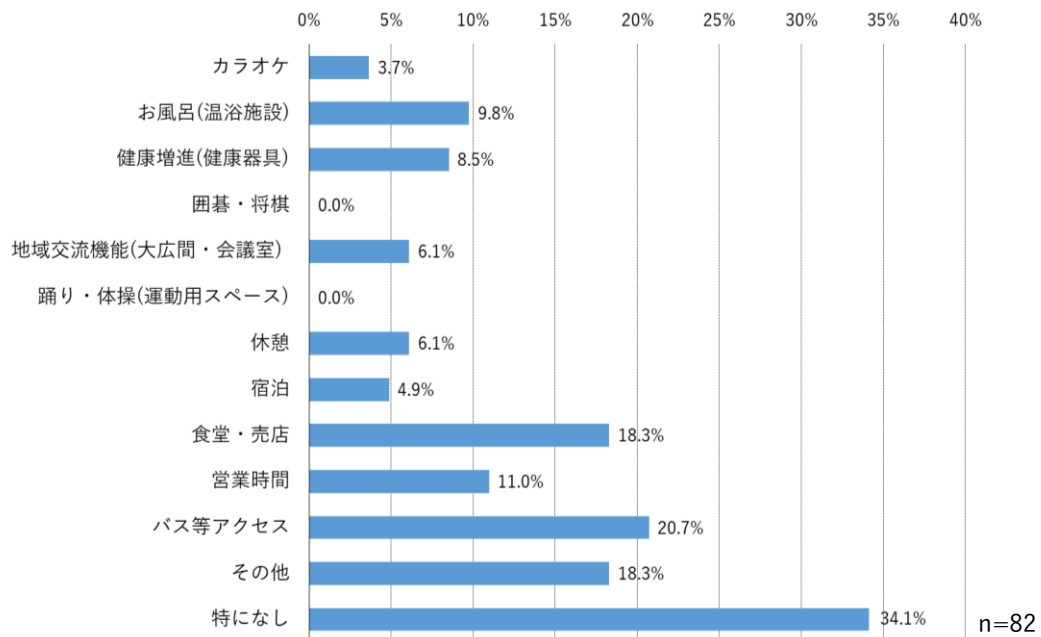
【白雲荘でよく利用した施設について】

白雲荘を利用したことが有る 82 人を対象によく利用した施設を質問したところ、地域交流機能（大広間・会議室）が最も多く 52.4%、次にお風呂（温浴施設）41.5%、食堂・売店 39.0%の順であった。



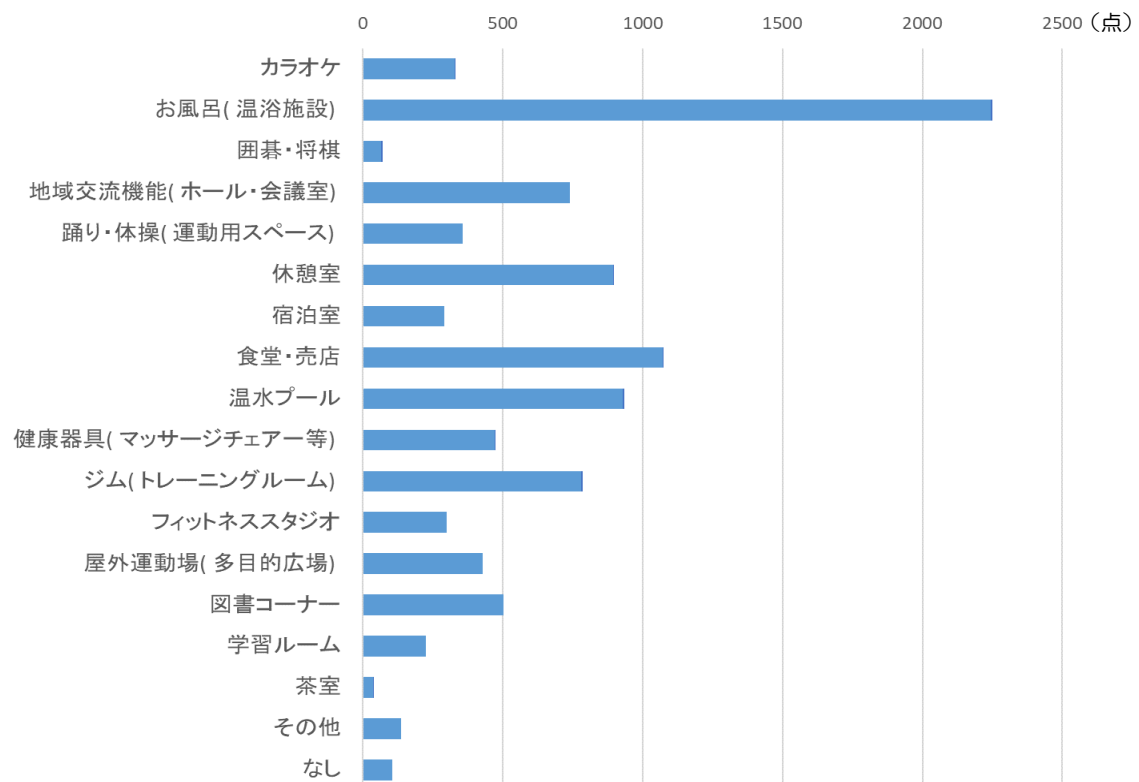
【白雲荘の利用で不便だったこと】

白雲荘を利用した際に不便だった施設について質問したところ、なしという回答が 34.1%と最も多く、次にバス等アクセス 20.7%、食堂・売店が 18.3%の順であった。



【新地域還元施設に必要な施設について（重みづけ）】

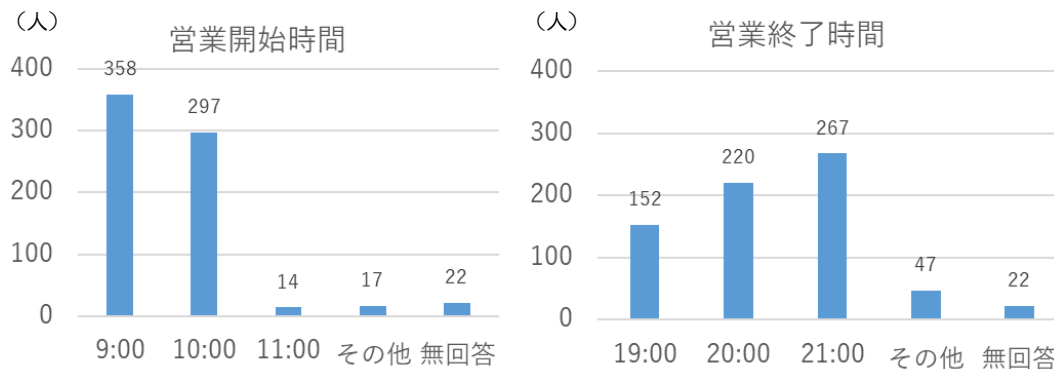
新地域還元施設に必要な施設について質問したところ、お風呂（温浴施設）という回答が最も高く、次に食堂・売店、温水プール、休憩室の順であった。



※順位別配点：1位5点 2位4点 3位3点 4位2点 5位1点を人数に乗ずる。

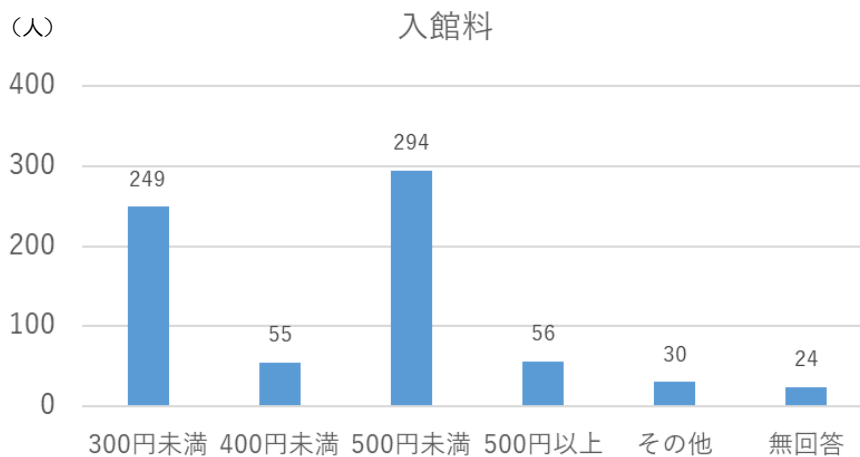
【営業時間について】

新地域還元施設の営業時間について質問したところ、開始時間は9時から、終了時間は21時までという回答が最も多かった。



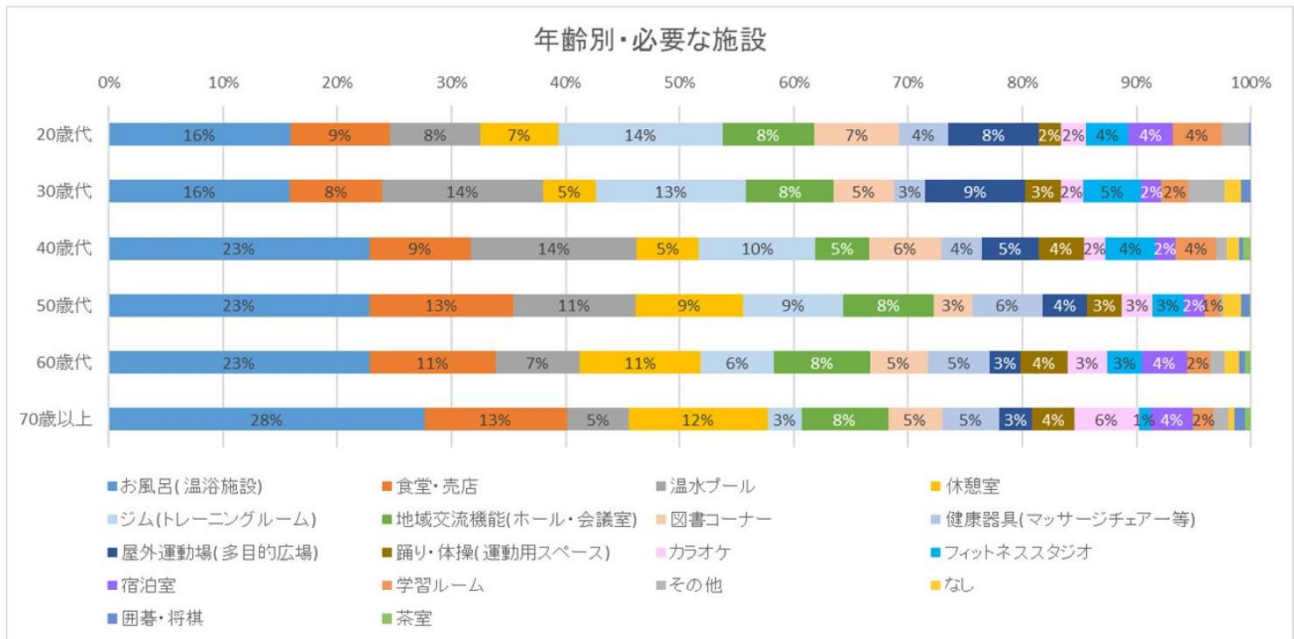
【入館料について】

新地域還元施設の入館料について質問したところ、500 円未満という回答が最も多く、次に 300 円未満という回答が多かった。



【年齢別・必要な施設の選択割合（重みづけ）】

地域還元施設に必要な施設について年齢別に集計したところ、全ての年代でお風呂（温浴施設）という回答が最も多く、20歳代ではジム（トレーニング）、30歳代と40歳代では温水プール、50歳代では食堂・売店、60歳代と70歳代では休憩室という回答が多かった。



(4) 高校生によるフューチャーセッション

①実施概要

○実施日時・会場

平成 30 年 9 月 29 日（土） 13:00～14:30

小美玉市小川文化センターアピオス小ホール

○参加者

茨城県内の高校 5 校より 25 名が参加した。話し合いや作業、成果発表は 5 班に分かれて行った。

- ・茨城県立石岡第一高等学校
- ・茨城県立石岡第二高等学校
- ・茨城県立石岡商業高等学校
- ・茨城県立中央高等学校
- ・茨城県立茨城東高等学校

○実施内容

ワークショップ形式により3つのテーマについて各班で議論を行い、その結果について発表を行った。実施内容は次の通りである。

【図表】 実施内容

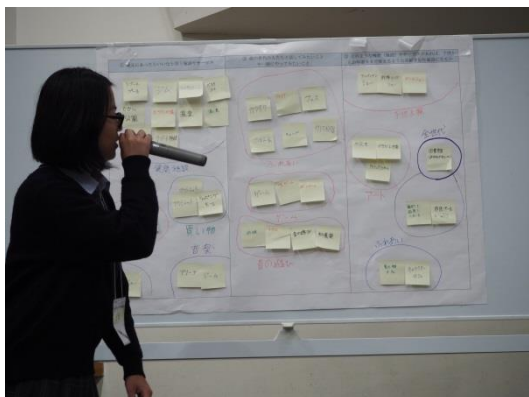
■地域還元施設検討の経緯・旧白雲荘等の説明

■テーマについての議論

- ・テーマ1：地元にあったらいいと思う施設やサービス
- ・テーマ2：他の世代の人たちと話してみたいことや一緒にやってみたいこと
- ・テーマ3：どのような機能（施設）やサービスがあれば、子どもからお年寄りまで使えるような高齢者福祉施設になるか

■とりまとめ（各班の成果発表、総括）

【写真】 フューチャーセッションの様子



②ワークショップの結果

ワークショップで出た意見について、施設やサービスについて整理したものは下記の通りである。

【図表】ワークショップでの意見

質 問	代表的な意見
①地元にあったらいいと思う施設 (62件)	<p>○インスタ映えスポット(3)、おしゃれでインスタ映えするレトロなカフェ</p> <p>○スポーツ系／無料ジム、駅近ゴルフ場、ボクシングジム、ボーリング場、ラウンドワン、バスケット、フットサルコート、スポーツ公園、リゾートプール</p> <p>○温浴施設／温泉(3)、足湯、スーパー銭湯</p> <p>○学びの場／図書館、博物館、子供向けのものづくり体験</p> <p>○アミューズメント系／カラオケ、映画館、雀荘、ゲームセンター、UFOキャッチャー、USJ、ディズニーランド、お化け屋敷</p> <p>○音楽系／アリーナ、ドーム、のど自慢できるステージ</p> <p>○商業系施設／アウトレットパーク、ショッピングモール、カフェ、長時間休憩できるカフェ、スタバ、古着屋、リゾート施設</p>
②他の世代の人たちと話してみたいことや一緒にやってみたいこと (56件)	<p>○スポーツ／ゲートボール、レスリング、ゴルフ、ヨガ、ボルダリング</p> <p>○ゲーム／ビンゴゲーム、クイズ大会、ベーゴマ、オセロ、トランプ、麻雀、カードゲーム</p> <p>○遊び／カラオケ、囲碁、将棋、麻雀、パラパラ踊り、雑貨づくり</p> <p>○アート／劇団四季、歌舞伎、クラシックコンサート</p> <p>○その他／折り紙、人生体験の話、知恵袋、恋愛についての話、お正月の話、昔話、昔のまちの様子を聞く、バスケットの話、魚に詳しい人と語り合いたい、クリスマスパーティ、赤ちゃんと戯れたい</p>
③どのような機能(施設)やサービスがあれば、子供からお年寄りまで使えるような高齢者福祉施設になるか (77件)	<p>○ソフト(サービス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オセロ大会、ゴルフ大会、お年寄りの方に相談大会、ビンゴ大会 ・フィッシング、焼き物体験、たこあげ、一緒に物づくり、みんなで楽しく混浴、祭り、お年寄りとおばけやしきを回る、お年寄りの相談会、お年寄りによる雑貨づくりのワークショップ、お年寄りによる浴衣の着付け教室、昔はやった物の講習会、バリアフリーのショッピングモール、交流会の開催 ・インスタ映え、図書館読み聞かせ、年齢関係なしの学校 ・孫がおじいちゃん・おばあちゃんと同行するとサービスのスポーツジム <p>○ハード(施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉(4)、屋内温水プール、サウナ ・室内の公園(雨の日でも子供が遊べるプレイルーム)、楽器の練習場、個室小ホール、子供も預けられる場所、老人ホームと保育園の建物の一体化 ・小規模体育館、スポーツジム(2)、武道教室、無料マッサージマシン、格技場、カプセルベッド、酸素ベッド、ジムと温泉の一体化 ・休憩スペース、図書館(2)、歴史館、動物カフェ、テーマパーク、キャラクターカフェ、ドッグラン、遊園地 ・壁に手すり、スロープ

※ () 内の数字は複数意見の数

(5) まとめ

新地域還元施設の機能に関するニーズが高いと考えられるものは以下のとおりである。

○施設のハード面に関するニーズ

- ・風呂：老人会等の催事に参加し、友人と入浴したとの回答から、通常の温浴施設よりも入浴時間が集中しても、対応できる空間に余裕のある風呂が求められている。
- ・多目的室：白雲荘では老人会で大勢で集い楽しかったと多くが回答、これまでの大広間に代わる空間が求められている。また、高校生からは地域の歴史や文化について高齢者から学びたいとの意見があり、これらに関する講座のための研修室が求められている。
- ・食堂・売店：必要な施設としてのニーズが高い。
- ・休憩施設：ロビー等の休憩施設
- ・健康増進施設：モニタリング調査では健康器具、アンケート調査ではトレーニングルーム、若い世代からも小さな体育館のニーズがある。

○施設のソフト面や運営に関するニーズ

- ・提供サービス、立地条件・その他では、次の機能が求められていると考えられる。
- ・送迎バス等のアクセスが求められている。
- ・白雲荘はほとんどが和室であったため、椅子での利用も求められている。
- ・施設のバリアフリー化が求められている。

2-5 課題整理

(1) 地域還元施設の内容

①地域交流の場としての地域還元

新広域ごみ処理施設の建設場所には、現在の処理体制でごみ処理施設が稼働しており、これまでは旧地域還元施設による地域還元が行われてきたが、新広域ごみ処理施設建設に伴いやむなく解体された。新広域ごみ処理施設に移行後も地域住民に対する健康増進の場や地域交流の場として地域還元の役割を果たす施設整備が求められている。

そのため、ニーズの高い温浴施設（風呂）、多目的施設（大会議室）、食堂・売店、スポーツ施設の導入方針の検討が必要である。

②白雲荘の意思を継承

白雲荘は、高齢者が集い交流する場としての重要な役割を担ってきた。老人会で100人を超える参加者が集える場、一緒に入浴を楽しむ場、カラオケを楽しむ場、学習する場等、多様な場を提供して、高齢者にとっての生きがいや憩いの場として機能してきた。解体された旧地域還元施設の諸施設の機能回復が求められている。そういった意味では、まとまった人数が利用できる大ホールやお風呂、学習やカラオケに使用できる娯楽スペース等に関する要望が多く挙げられている。

③多世代が利用する地域還元施設

白雲荘の意思を継承しつつ、限定的に高齢者が享受していた地域還元を、多世代に展開していく必要がある。

(2) 建設予定地の確定

本構想においては、建設用地は確定していない。建設用地の立地条件や土質条件が基本構想に大きな影響を及ぼすことから、より精度の高い具体的な計画を進めるためには、建設用地を確定する必要がある。

(3) アクセスの確保

高齢者等も利用できる最寄り公共交通機関の駅が、新広域ごみ処理施設周辺にはない。そのため、送迎バス等の来場手段の検討を行う必要がある。